

平成30年度

事業報告書

決算報告書

公益財団法人 広島市みどり生きもの協会

目 次

第1 事業報告書

1	設立目的及び概況	1
2	役員等の状況	2
3	理事会等の開催	4
4	定款の変更	4
5	職員の状況	5
6	事業の実施状況	6
7	事業報告の附属明細書	7 2

第2 決算報告書

1	貸借対照表	7 3
2	貸借対照表内訳表	7 5
3	正味財産増減計算書	7 6
4	正味財産増減計算書内訳表	8 0
5	財務諸表に対する注記	8 4
6	附属明細書	8 6
7	財産目録	8 7

事業報告書

第1 事業報告書

平成30年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告書 (平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

緑のまちづくりの事業及び公園に関する事業を通して、ゆとりとやすらぎのある緑豊かな都市環境の形成及び市民の心身の健全な発達を図るとともに、生物多様性の保全に貢献し、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

(2) 概況

ア 設立年月日

昭和51年10月1日 財団法人広島市公園協会として設立

平成11年 4月1日 財団法人広島市動物園協会と統合

平成24年 4月1日 公益財団法人へ移行し、公益財団法人広島市みどり生きもの協会に名称変更

イ 基本財産

設立当初、基本財産は1,000万円(全額広島市出資)であったが、平成11年4月1日財団法人広島市動物園協会との統合に伴い、同財団から1,200万円を寄附受領し、また、広島市から9,000万円の追加出資があったことにより、現在の基本財産は、1億1,200万円(うち広島市出資1億円)である。

ウ 実施事業

- (ア) 緑化思想の普及啓発、民有地の緑化等緑のまちづくりの推進
- (イ) 広島市が設置する公園及び公園施設の管理運営及び利用の促進
- (ウ) 広島市が設置する動物公園、植物公園及び昆虫館の管理運営及び利用の促進
- (エ) 生きものに関する調査研究、教育及び普及啓発
- (オ) 前各号に関する附帯事業の運営
- (カ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の人数

理事長	1人
専務理事	1人
常務理事	2人
理事	11人
監事	2人
評議員	12人

(2) 理事・監事

ア 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏名	異動内容
平成30年 4月 1日	監事	久光 章	就任
平成30年 6月14日	理事長	岡村 清治	重任
	常務理事	南 心司	重任
平成31年 3月28日	理事	打越 勲	辞任
	理事	金子 和泰	就任

イ 平成31年3月31日現在の理事・監事は、次のとおりである。

役職	氏名	就任年月日
理事長	岡村 清治	平成29年 4月 1日
専務理事	佐名田 敬 荘	平成27年 4月 1日
常務理事	栄谷 洋	平成28年 4月 1日
常務理事	南 心司	平成27年 4月 1日
理事	石田 源次郎	平成24年 4月 1日
理事	上向井 利之	平成29年 6月14日
理事	金子 和泰	平成31年 3月28日
理事	児玉 吾郎	平成27年 3月27日
理事	中越 信和	平成17年 7月 1日
理事	中原 裕子	平成27年 6月10日
理事	榊井 秀雄	平成17年 7月 1日
理事	益淵 正典	平成21年 7月 1日
理事	松本 幸雄	平成21年 7月 1日
理事	宮崎 智三	平成29年 3月28日
理事	渡邊 一雄	平成17年 7月 1日
監事	神田 敏治	平成19年 7月 1日
監事	久光 章	平成30年 4月 1日

(3) 評議員

ア 事業年度中の評議員の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏名	異動内容
平成30年 6月14日	評議員	寺内 優	辞任
	評議員	福田 博	就任
	評議員	吉田 幸	就任

イ 平成31年3月31日現在の評議員は、次のとおりである。

役職	氏名	就任年月日
評議員	大橋 啓一	平成28年 6月 9日
評議員	尾楠 美代子	平成26年 3月27日
評議員	真宅 成光	平成24年 4月 1日
評議員	竹澤 寿幸	平成25年 8月 1日
評議員	田邊 朋子	平成29年 6月14日
評議員	富川 久美子	平成28年 6月 9日
評議員	中島 昌子	平成24年 4月 1日
評議員	中坪 孝之	平成24年 4月 1日
評議員	福田 博	平成30年 6月14日
評議員	藤井 敏男	平成24年 4月 1日
評議員	山岡 裕幸	平成29年 6月14日
評議員	吉田 幸	平成30年 6月14日

3 理事会等の開催

(1) 理事会

開催年月日	開催回数	付 議 事 項	審議結果
平成30年 5月28日	平成30年度 第1回	1 平成29年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告及び決算報告について 2 理事長、専務理事及び常務理事の自己の職務の執行状況の報告について 3 平成29年度における職員の職務に係る倫理の保持に関する状況及び職員の職務に係る倫理の保持に関して講じた施策に関する報告について	承認 終了 終了
平成30年 6月14日 (決議の省略)	平成30年度 第2回	1 理事長の選定の決議について 2 常務理事の選定の決議について	選定 選定
平成31年 3月12日 (決議の省略)	平成30年度 第3回	1 平成30年度第3回評議員会の招集について	原案可決
平成31年 3月28日	平成30年度 第4回	1 平成31年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業計画及び予算について 2 平成31年度第1回評議員会の招集について 3 理事長、専務理事及び常務理事の自己の職務の執行状況の報告について	承認 原案可決 終了

(2) 評議員会

開催年月日	開催回数	付 議 事 項	審議結果
平成30年 4月1日 (決議の省略)	平成30年度 第1回	1 監事の選任の決議について	選任
平成30年 6月14日	平成30年度 第2回	1 平成29年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会決算報告について 2 評議員の選任の決議について 3 理事の選任の決議について 4 平成29年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告について	承認 選任 選任 終了
平成31年 3月28日	平成30年度 第3回	1 理事の選任の決議について	選任

4 定款の変更

事業年度中の定款の変更はなし。

5 職員の状況

平成31年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。

(単位：人)

区 分	事 務 職 員						技 術 職 員						技能業務職員	非常勤職員	合 計
	部 長 級	課 長 級	課 長 補 佐 級	係 長 級	主 事	小 計	部 長 級	課 長 級	課 長 補 佐 級	係 長 級	技 師	小 計			
緑 化 管 理 部	経営企画課	2	2	3	2	9					3	3	1	4	17
	昆 虫 館			1		1		1	1	3	2	7		1	9
動 物 公 園	管 理 課	1		3	3	7				1	3	4	3	18	32
	飼育・展示課							1	2	7	19	29		2	31
植 物 公 園	管 理 課	1	1	2	2	6	1		1	1	2	5	1	1	13
	栽培・展示課							1	2	4	4	11		6	17
合 計		4	3	9	7	23	1	3	6	16	33	59	5	32	119

6 事業の実施状況

次の事業を実施した。

(1) 公益目的事業

① 緑のまちづくり〔公1事業〕

緑化思想の普及、啓発を図るとともに、市民の自主的な緑化活動を促進し、市民の生活にゆとりと安らぎを与え、健やかで潤いのある緑豊かな住みよいまちづくりを進めるため、次のとおり事業を実施した。

ア 緑化思想の普及啓発

(ア) グリーンフェア

名 称	時 期	場 所	内 容	入場者数
春のグリーンフェア	4月13日 ～ 4月22日	中央公園 自由広場	広島市等と実行委員会を組織し、ハンキングバスケット作品展、モデル庭園などの展示及び花市・植木市などを行った。	約51,000人
秋のグリーンフェア	10月20日 ～10月28日	植物公園	広島市等と実行委員会を組織し、見どころめぐりスタンプラリーや花と緑の講習会などを行った。	12,637人

(イ) 広報普及

名 称	時 期	内 容	件 数
ホームページ広報	通 年	ホームページにより、事業の紹介や催し物などの情報を提供した。	アクセス件数 176,154件
マスコミ広報	通 年	新聞社を通じて、催し物などの情報を提供した。	9件

イ 民有地緑化の推進

(ア) 緑化講習会の開催

名 称	時 期	場 所	内 容	参加者数
初夏のハンギング バスケットづくり	6月 6日	中央公園 ファミリープール	インパチェンス、コリウスなどを 使用した初夏らしいハンギング バスケット作りを実演指導した。	22 人
クリスマスに ぴったりの寄せ植え	11月14日	中央公園 ファミリープール	ガーデンシクラメン、ポインセチ ア、ヒイラギなどを使用したクリ スマスにぴったりの寄せ植え作 りを実演指導した。	28 人
新春を迎える 寄せ 植 え	12月 5日	中央公園 ファミリープール	松、葉牡丹、シクラメン、福寿草の ほか、石材、コケなどを使用した新 春らしい寄せ植え作りを実演指導 した。	14 人
春の息吹を感じる 寄せ 植 え	3月22日	中央公園 ファミリープール	オダマキ、ブツレア、モンタナ、 トウダイグサなどを使用した寄せ 植え作りを実演指導した。	12 人

(イ) 緑のカーテン設置補助金などの交付〔緑化基金事業〕

名 称	時 期	内 容	交付件数等	
			件数	金 額
緑のカーテン設置 補助金の交付	4月 4日 ～ 5月 9日	緑のカーテンの設置に要した費用の 一部を補助金として交付した。	36 件	190,700 円
魅せる花づくり 補助金の交付	5月 2日 ～ 6月 7日 9月 3日 ～10月 5日	民有地内で多くの人の目に触れる場 所（道路に面した場所）において花づ くりを行った費用の一部を補助金と して交付した。	44 件	307,200 円
記念樹の贈呈	7月15日 ～ 8月31日	誕生、入学・卒業、成人、結婚など人 生の記念の節目を迎えた者に記念樹 （苗木）を贈呈した。	106 件	230,256 円
民間建築物等緑化事業 補助金の交付	—	ホームページなどで制度の案内を 行ったが、交付申請がなかった。	0 件	—

(ウ) 緑化指導者の派遣〔緑化基金事業〕

名 称	時 期	内 容	参加者数等
緑化指導者の派遣	通 年	緑化に精通した専門の指導者を講習会に派遣し、草花の寄せ植え、育て方などを指導した。	開催回数 24 回 参加者数 549 人

(エ) 出版物の発行〔緑化基金事業〕

名 称	時 期	内 容	発行部数
ハンドブック 「魅せる花、緑のカーテン つくりかたBOOK」	通 年	「緑のカーテン設置補助金」や「魅せる花づくり補助金」の利用促進を図り、広島市の推進する「花と緑の広島づくり」に協力するため、緑のカーテン、花壇等の作り方・楽しみ方をまとめたハンドブックを発行・配布した。	3,500 部

ウ 貢献者の表彰〔みどり生きもの協会賞基金事業〕

広島市みどり生きもの協会賞基金の運用益等をもって、広島市の公園緑地事業等の発展振興への貢献者に広島市みどり生きもの協会賞又は協会奨励賞を贈呈するものであるが、該当者がなかった。

② 動物公園の管理運営〔公2事業〕

広島市から指定（期間：平成30年4月1日～令和4年3月31日）を受けた広島市安佐動物公園における動物の飼育・展示、収集及び飼育管理、入園料の収受、施設の維持管理などを行い、入園者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れやコンクールその他催し物の開催など各種事業を実施し、動物に関する知識及び動物愛護思想の普及、かん養並びに動物愛好者の育成を図った。

ア 動物の飼育・展示など

(ア) 動物の飼育・展示

〔展示場所等〕 主な展示動物	内 容
〔エントランスゾーン〕 アヌビスヒヒ、 フラミンゴなど	サバンナのコピエをイメージしたヒヒ山では、身体能力の高いアヌビスヒヒを群れで展示し、開園時間に給餌を実施するなど社会性が観察できる展示を行った。また、色鮮やかなフラミンゴ4種を群れで混合展示し、展示場内で繁殖行動を観察できる展示を行った結果、1羽の繁殖に成功した。ペリカンについては、雌1羽をときわ動物園から導入し、繁殖を目指し雌雄の展示を行った。
〔アフリカゾーンⅠ〕 サバンナゾウ、 マルミミゾウ、 アミメキリン、 グラントシマウマ、 ケープハイラックスなど	アフリカの雰囲気を醸し出すため、サバンナゾウ、マルミミゾウ、アミメキリン、グラントシマウマなどを広い放飼場一帯に展示した。マルミミゾウは、引き続き日・祝日に公開調教を行い、ゾウの能力や飼育手法を解説し、野生動物の魅力が分かる展示を行った。アミメキリンは、5頭の群れ展示を継続し、「バックヤードガイド」や「動物観察えさやり体験デー」でキリンの生態等を解説した。グラントシマウマは、平成30年4月から9月に繁殖した4頭の子どもが順調に成育し17頭となり、国内最大級の群れ展示を継続した。ケープハイラックスは、10頭以上の子どもが成育し子育てを見ることが出来る群れ展示を行ったほか、平成31年度の再整備工事に伴い、仮飼育施設を整備した。
〔アフリカゾーンⅡ〕 チーター、クロサイ、 ミーアキャットなど	アフリカに生息するチーター、クロサイ、ミーアキャット、アフリカスイギュウなどを展示した。チーターは、敏捷な動きを観察できる展示を行った。クロサイは、間近まで寄ってくる迫力ある展示を行うとともに、動物解説を行った。また、クロサイのハナは平成30年7月に52歳を迎え、長寿世界記録をさらに更新したが、9月に老衰により死亡した。ミーアキャットは、穴掘りの様子や日光を浴びて立つ姿を見ることが出来る10頭以上の群れ展示を行った。

〔展示場所等〕 主な展示動物	内 容
〔サルのかなかま〕 チンパンジー、 マンドリルなど	チンパンジー、マンドリル、ダイアナモンキー、ブラッザグエノンなど多様なサル類を展示した。マンドリルは、7月に雄の子どもが生まれ成育し、群れ展示を充実させた。また、その能力、形態、行動についてヒトとの違いを学べるよう、「まいにち動物解説」を行った。チンパンジーは、放飼場にある各タワーをつなぐ橋梁を新たに設置し、高所を自由に素早く移動する姿や、ステンレスの板を鏡として利用する姿など、本種の身体能力や知能の高さが学べる展示を引き続き行った。
〔ぴーちくパーク〕 ポニー、テンジクネズミ、 ウサギ、ブタ、ペンギン、 大型インコ類など	ヤギ、ヒツジ、ミニブタなどと自由に触れ合える広場を提供するとともに、ポニーの乗馬体験や、テンジクネズミとのふれあい体験を通して動物の温もりを伝え、動物を愛護する情操のかん養を図った。また、色鮮やかな大型インコ類を展示した。ホノルル動物園から雌を導入したスマレコンゴウインコは、繁殖に向けた取り組みを開始し、雄との同居にも成功した。アオメキバタンが1羽、ルリコンゴウインコが1羽孵化し順調に成育した。ことりの家では、ベニスズメ、セイキチョウ、ウズラ、ヒメウズラ、クジャクバト等が繁殖し多種の鳥類によるにぎやかな展示を行った。子育ての家では、オオサンショウウオの幼体・成体を展示した。雌2羽を導入したフンボルトペンギンは、ペアリング・産卵が順調に進み、3月には有精卵を確認したが、孵化までには至らなかった。
〔はちゅう類館〕 〔リクガメ広場〕 コウモリ、ワニ、ヘビ、 オオサンショウウオ、 リクガメ、ゾウガメなど	活発に動き回る夜行性動物の姿を観察できるよう、照明を暗くした1階には、ムササビなどを展示するとともに、キクガシラコウモリを導入しコウモリ類の展示を充実させた。新たに導入したスローロリスの雄を展示し、同種の展示を充実させた。また、青色LED照明を一部に導入し、見え方のアンケートを実施するなど、より夜らしい展示を試みた。バックヤードガイドで、夜行性動物の生態や特長、飼育の現場について解説した。2階には、ワニやヘビなどの爬虫類のほか、特別天然記念物オオサンショウウオを展示した。リクガメ広場では、リクガメ類を展示した。昨年度に当園で初めて繁殖に成功したハウシャガメは、さらに9頭が孵化し成育した。
〔アジアの草食動物〕 マレーバク、 ブラックバックなど	マレーバク、ブラックバック、フタコブラクダ、キョンなどアジアの様々な環境に生息する草食獣を展示した。マレーバクは、新たな雄を導入し、繁殖の再開に向け、雌の導入に取り組むこととした。ブラックバックは、順調に繁殖しており、群れ展示を継続した。フタコブラクダは、バックヤードガイドにおいて、砂漠に適応したラクダの特長やその飼育について解説した。キョンは、将来の整備計画を見据えて繁殖制限に取り組んだ。

〔展示場所等〕 主な展示動物	内 容
〔日本の動物〕 ツキノワグマ、 キツネ、タヌキなど	身近な動物について学ぶため、ツキノワグマ、キツネ、タヌキ、アナグマ、イノシシなど広島県内に生息する動物を展示した。キツネは保護個体を展示に導入し、繁殖を目指すとともに展示を充実させた。
〔大鳥舎〕 オシドリ、バンなど	オシドリの生息地である森林の河川やマガモ、シジュウカラガンなどの生息地である開けた湿地・湖沼に似せた環境で、水鳥を展示した。オシドリは、雄3羽を放出するとともに、新たに2羽の雌を導入し、雄に偏っていた性比を改め、繁殖に向けて準備を行った。サカツラガンは、雄の導入先を引き続き調査した。
〔西園〕 レッサーパンダ、 シロフクロウなど	ユーラシアカワウソは、ブリーディングローンにより他園で繁殖し当園が所有する権利を持つ雄の子どもを、繁殖の再開に向け導入した。レッサーパンダは、ブリーディングローンにより導入した個体による2組のペアを形成し、展示の充実と繁殖への取り組みを行った。シフゾウは、雌の発情に合わせて、引き続き同居させた。ニホンカモシカ、タンチョウ、コウノトリなど日本に生息する動物の展示も行った。
〔肉食動物ゾーン〕 ライオン、トラ、 ヒョウなど	ライオンは、平成29年に導入した雌2頭が繁殖し、生まれた子ども3頭を公開した。土・日・祝日にはガラス展示スペース「レオガラス」での「レオガラスお食事タイム」による迫力のある給餌と解説を行った。アムールトラは、新たに雄を導入し展示の充実と繁殖の取り組みを行った。アムールヒョウは、雌との繁殖に不適合な雄個体を交換し、新たな繁殖への取り組みを開始した。また、アムールトラ、アムールヒョウともに強化ガラス（パンセラビュー）により、迫力や威圧感が伝わる展示を行った。

【動物の飼育展示数】

(平成31年3月31日現在)

区 分	種 類	点 数
哺乳類	57種	691点
鳥類	47種	688点
爬虫類	31種	256点
両生類	4種	318点
魚類	10種	—
合 計	149種	1,953点

(イ) 動物の収集及び飼育管理

名 称	内 容																												
展示動物の維持及び種の保存	血統や余剰動物の管理を適切に行い、計画的な繁殖、ブリーディングローンなどにより、展示動物を適正に維持するとともに、保護が必要な動物を飼育し、種の保存を図った。																												
飼育下繁殖	マンドリル、オオサンショウウオ、オオフラミンゴ、ホウシヤガメ、ナゴヤダルマガエルなど、絶滅危惧種や希少種とされている野生動物の繁殖に成功した。																												
ブリーディングローン	<p>所有権を移転することなく、他園と動物の貸出しや借入れを行うことで、効率的かつ効果的に繁殖を行った。</p> <p style="text-align: right;">(単位：頭)</p> <table border="1" data-bbox="703 775 1414 999"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>哺乳類</th> <th>鳥類</th> <th>爬虫類</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">30年度 新規</td> <td>借入</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>貸出</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">全体</td> <td>借入</td> <td>21</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>貸出</td> <td>49</td> <td>26</td> <td>0</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table> <p>30年度借入：アムールトラ（東京都）、アムールヒョウ（神戸市）、マレーバク（東武動物公園）、フンボルトペンギン（福山市、しまね海洋館） 30年度貸出：アムールトラ（静岡市）</p>			哺乳類	鳥類	爬虫類	合計	30年度 新規	借入	3	2	0	5	貸出	1	0	0	1	全体	借入	21	4	1	26	貸出	49	26	0	75
		哺乳類	鳥類	爬虫類	合計																								
30年度 新規	借入	3	2	0	5																								
	貸出	1	0	0	1																								
全体	借入	21	4	1	26																								
	貸出	49	26	0	75																								
動物交換	<p>余剰動物を他園と交換して、必要な動物を入手し、新しい血統の確保を図った。</p> <p>導入：テンジクネズミ、オシドリ、モモイロペリカン 放出：バン、ヤギ</p>																												
血統登録・血統管理	<p>（公社）日本動物園水族館協会が行う血統登録に参画し、希少種の血統管理の会議に出席するなど国内の希少種保全に協力した。</p> <p>アムールヒョウやアムールトラを導入し、グラントシマウマやアムールヒョウを放出するなど他園館と協力して希少種の血統管理を行い、血縁の偏りを防いだ。</p>																												

名 称	内 容
動物の飼育管理及び 展示環境の改善	園内で飼育・展示する動物が健康で長生きできるよう飼育管理を行った。また、動物が本来持つ自然で多様な行動を引き出し、日々生き生きと暮らせるよう、展示環境の改善を行った。
飼 育 管 理	健康状態を良好に保つため、衛生的かつ栄養学的に適切な飼料の配合や給餌、必要に応じた診察や治療、飼育舎の衛生管理を行った。クロサイのハナに関しては、飼育管理を徹底し長寿世界記録を更新したが、9月に老衰により死亡した。高病原性鳥インフルエンザ対策のため、一部の鳥類を隔離した。また、ネコ科の動物に感染する可能性のある重症熱性血小板減少症候群(SFTS)対策として、マダニ駆除のための薬剤散布や草刈を行った。
展示環境の改善 (環境エンリッチメントの強化)	生息地の自然環境を考慮し、野生動物が本来持つ行動を引き出すため、展示環境の改善を行った。チンパンジー舎では、タワーの利用拡大のため橋梁を設置し、クマ舎では、放飼場における運動範囲拡大のためやぐらを改修した。また、サル舎等への渡り木の設置、餌を探させることを目的とした運動場への落ち葉の敷き詰めや遊び道具の設置など、様々な工夫を施した。

(ウ) 入園料の収受 (利用料金制)

【入園状況】

区 分				入園者数	使 用 料			
有 料 入 園 者	個 人		大人	18歳以上 65歳未満	510円	159,204人	81,194,040円	
				65歳以上	170円	10,341人	1,757,970円	
			小人	18歳未満(小・中学生を除く)	170円	3,155人	536,350円	
	年 間 パ ス ポ ー ト	購 入		大人	18歳以上 65歳未満	1,540円	7,759人	11,948,860円
					65歳以上	510円	647人	329,970円
				小人	18歳未満(小・中学生を除く)	510円	11人	5,610円
		提 示		大人	18歳以上 65歳未満	—	26,414人	—円
					65歳以上	—	2,657人	—円
				小人	18歳未満(小・中学生を除く)	—	25人	—円
	団 体			大人	18歳以上 65歳未満	430円	11,184人	4,809,120円
					65歳以上	130円	228人	29,640円
				小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130円	3,961人	514,930円
	優 待 割 引	個 人		大人	18歳以上 65歳未満	430円	853人	366,790円
					65歳以上	130円	34人	4,420円
				小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130円	5人	650円
		年 間 パ ス ポ ー ト	購 入	大人	新成人	510円	8人	4,080円
提 示			大人	新成人	—	2人	—円	
小 計					226,488人	101,502,430円		
減免等入園者 (小・中学生、社会福祉施設、その他)					243,887人	0円		
合 計					470,375人	101,502,430円		

(エ) 利用促進

名 称	時 期	内 容	枚 数 等
「ポニー体験乗馬」 ポイントカードの発行	通 年	毎週土・日曜日、祝日に行うポニーの体験乗馬参加者にポイントカードを発行し、利用回数に応じた特典を設け、リピーターの確保を図った。	ポイントカード配付枚数 4,937 枚 特典供与人数 延べ 399 人
年間パスポートの販売 (動物公園・植物公園・ 昆虫館共同事業)	通 年	より多くの方に動物公園の魅力に触れる機会を提供するため、植物公園・昆虫館と共通で利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。	販売枚数 8,425 枚
優待利用券の販売	通 年	企業や団体の福利厚生や景品などへの利用を目的に優待利用券(入園券引換券+飲み物引換券)を販売し、新たな入園者の獲得に努めた。	販売冊数 大人(65歳未満) 54 冊
広島市交通科学館 との相互利用促進 (公財)広島市文化財団共同事業)	通 年	近隣施設の広島市交通科学館と協力して、相手施設の使用済の観覧券又は入園券提示者に団体割引料金を適用し、更なる利用者獲得を図った。	827 人
公共交通機関利用者 への特典付与	通 年	駐車場不足による渋滞対策として、路線バスやアストラムラインを利用して来園した者に対し、売店、食堂等の商品割引サービスを行い、公共交通機関利用による来園を促進した。	2,673 人
旅行代理店と連携 した観光客の誘致	通 年	旅行代理店に入園者の誘致のための広報宣伝を委託するとともに、旅行代理店が発行したクーポン券利用の入園者に売店、食堂等の商品の割引サービスを実施することにより、観光客の増加を図った	15 件
アニマルカードの 進 呈	通 年	天候不順日の来園者に、動物公園オリジナルアニマルカードを進呈し、更なる顧客の獲得に努めた。	8,159 枚
電動カートの運行	通 年	土・日・祝日に、勾配の急な西園等への移動手段として、電動カートを運行し、入園者サービスの向上を図った。	8,203 人
広島駅南口地下広場 柱巻案内看板の設置	通 年	JR広島駅南口広場にある柱に、安佐動物公園行きバス乗り場までを案内する写真看板を設置し、広島駅からバスを利用する来園者の利便性の向上を図った。	柱 5 か所 写真 延べ 36 枚

名 称	時 期	内 容	入園者数等
外国語リーフレットの活用	通 年	英語や中国語のリーフレットを観光案内所を通じて配布することにより外国人観光客の増加を図った。	平和記念公園レストハウス観光案内所、JR広島駅南口観光案内所、広島バスセンターなど
新成人年間パスポート割引販売	4月1日 ～ 5月31日	平成30年5月末を期限として65歳以上の者と同額に割引くことで20歳代のリピーターの増加を図った。	販売 8人 提示 2人
休園日の開園	4月5日 5月2日 10月4日 10月11日 10月18日 10月25日 1月1日 1月3日 3月28日	春休み、ゴールデンウィーク期間中、10月の休園日、元日及び祝日と重なる場合の前日振替休園日などを開園し、利用者に対するサービスの向上及び入園者の増加を図った。	1,070人 1,995人 1,883人 1,134人 2,023人 1,528人 981人 2,118人 1,328人 合計 14,060人
がんばれカープ！ カープミニ 新幹線に乗ろう	4月30日 10月8日	展望広場で(株)広島東洋カープから広島市に寄贈されたカープミニ新幹線を走らせ、ファミリー層の利用促進を図った。	1,185人
ベビーカーの 無料貸出サービス	5月7日 ～ 6月29日	平日に、乳幼児を連れて公共交通機関で来園した保護者に、ベビーカーを無料で貸し出し、子育て世代の利用促進を図った。	11人
宮島水族館との連携	7月21日 ～ 3月31日	宮島水族館と連携し、合同PRイベントとスタンプラリーを実施し、観光客等の増加を図った。	スタンプラリー参加者 安佐動物公園 1,364人 宮島水族館 2,154人
お 盆 は ゆかたでナイト	8月11日 8月12日	浴衣や甚平を着てきた来園者に一人1枚かき氷交換券を配布することで、暑い時期の利用促進を図った。	1,250人

名 称	時 期	内 容	入園者数等
夜 間 開 園 (ナイト・サファリ)	8月11日 8月12日 8月18日 8月19日 8月25日 8月26日 9月 1日 9月 2日	幻想的な雰囲気を醸し出すとともに、昼間とは異なる動物たちの生態を観察できるよう、園内のライトアップや夕暮れコンサートなどを行い、動物公園の魅力を向上させ入園者の増加を図った。	夜間入園者数 (16時以降の入園者数) 4,116人 4,962人 5,800人 3,845人 5,631人 3,755人 3,617人 3,863人 合計 35,589人
イルミネーション 点 灯 式	8月11日 8月12日 8月18日 8月19日 8月25日 8月26日 9月 1日 9月 2日	夜間開園日に、様々なイルミネーションが点灯する点灯式を開催し、夜の動物園の魅力向上を図った。	1,500人
安 佐 動 物 公 園 ウオーキング大会 (安佐北区役所共同事業)	10月20日	シニア層を対象に、動物や植物など園内の自然に親しみながら歩く、ウオーキング大会を開催した。	180人
お客様感謝デーの実施	12月23日 1月14日	日頃の利用に感謝して、閑散期である冬期の祝日2日を入園料無料の日とし、入園者サービスの向上並びに入園者及び収入(駐車料等)の増加を図った。	1,468人 4,725人 合計 6,193人

(オ) 施設の維持管理・園内サービス

名 称	時 期	内 容
施設の維持管理	通 年	入園者に安全・快適な観察環境を提供するため、園内の清掃・警備を行った。動物の排泄物については、園内で堆肥化した上で、農家に提供した。また、動物舎などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	入園者が快適に観察できるよう、標識、リーフレット（外国人向けのものを含む）や園内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
園内情報の提供	通 年	園内の各所に工夫を凝らした展示解説板やクイズボード等を設置し、動物に関する知識の普及を図った。また、「きょうの見どころ・イベント」の掲示板上により当日の情報を提供した。
スマートフォン等園内ガイドアプリの活用	通 年	スマートフォンやタブレットを活用した入園者の利便性の向上や動物に関する知識の普及を図るため、スマートフォン等用の園内ガイドアプリを運用した。 (ダウンロード件数 2,917 件)
おもてなしの送迎	通 年	毎週土・日曜日、祝日の開園前に、職員がその日のイベントや見どころ等について説明を行い、また、開園時及び閉園時には入退場門でお出迎え、お見送りをするなど、職員一同おもてなしの気持ちを持って、来園者の送迎を行った。
ミストシャワー	7月21日 ～ 9月30日	夏季の入園者増加対策として、霧のシャワーを通り抜けできる涼感コーナーを設置し、サービスの向上を図った。

(カ) 施設の機能充実

名 称	時 期	内 容
みどり生きものサポーター・安佐動物公園募金等による施設の機能充実	通 年	野生動物のありのままの姿が観察できる、より魅力的な施設とするため、チンパンジーの放飼場にある既存の3つのタワーをつなぐ金属製の橋梁を設置し、行動範囲を拡大した。

イ 生物多様性の保全

(7) 他団体との連携

名 称	時 期	内 容	回 数 等
日動水の種保存に関する会議への参加	通 年	(公社)日本動物園水族館協会の種保存に関連した会議に参加し、種保存(繁殖)計画の検討及び調整を行った。	8回
希少動物の保護	通 年	(公社)日本動物園水族館協会からの受入れ要請に基づき、ワシントン条約違反の任意放棄動物を保護した。	28点
姉妹動物園との交流	通 年	ホノルル動物園から平成29年7月に1000ドルの寄付を受け、平成30年度にオオサンショウウオの調査研究に役立てた。また、ホノルル動物園のオオサンショウウオ飼育担当者が来園した際に、飼育施設や調査フィールドを見学し飼育技術交流を行った。	2件
日本オオサンショウウオの会の活動	10月6日 ~10月7日	滋賀県長浜市で開催された総会に参加し、保護活動に必要な情報交換を行った。	1回

(4) 生息域内保全

名 称	時 期	内 容	回 数
生息地における絶滅危惧動物の保全	通 年	北広島町志路原地区や世羅町小谷の保全団体などとの協働により、オオサンショウウオやナゴヤダルマガエルなど、絶滅に瀕した野生動物の保全活動を行った。また、オヒキコウモリについては、安佐北高等学校の校舎や広島大学歯学部校舎に生息する個体群の調査を行った。	オオサンショウウオの野外調査 8回 ナゴヤダルマガエルの野外調査 5回

(5) 生息域外保全

名 称	時 期	内 容	件 数
生息地以外における絶滅危惧動物の保全	通 年	国の特別天然記念物であるオオサンショウウオと、希少種であるヤマネ、キクガシラコウモリやヤマコウモリの飼育、ハヤブサの飼育下繁殖、繁殖行動の調査などに取り組んだ。また、広島県の絶滅危惧種であるナゴヤダルマガエルは、広島県からの受託業務により保全活動に取り組んだ。	6件

(エ) 動物に関する調査・研究等

名 称	時 期	内 容
動物に関する調査・研究	通 年	園内の動物や県内の野生動物の生態などについて調査・研究を行い、飼育技術の確立や生息域内・域外保全の推進に努めた。 1 再整備に向けた調査・研究 〔短期的取り組み〕 ・アフリカ平原再整備基本設計及びマルミミゾウ舎の実施設計について、構想図や飼育方針などの情報を提供するなど広島市に協力した。 〔中・長期的取り組み〕 ・キクガシラコウモリ等の小型哺乳類の飼育技術の確立のための飼育施設環境整備を行った。 ・園内に生息しているホンドギツネやムササビの行動について随時調査するとともに、入園者の観察に適したポイントについての研究を行った。 2 繁殖に関する調査・研究 ・他園への聞き取り調査等を行い、チーター、サバンナゾウ、シフゾウの繁殖に関する調査・研究を行った。 ・他園への聞き取り調査等を行い、スマレコンゴウインコの雌の導入に向けた情報を収集した。
各種資料の収集	通 年	Journal of ZOO and WILDLIFE MEDICINE など動物に関する書籍・雑誌・資料を収集し、繁殖などの調査・研究に役立てた。
写真・動画などの制作	通 年	アムールトラやマレーバクの搬入、ライオンやハイラックス、スマレコンゴウインコの様子などを写真・動画等に収録し、飼育技術の向上、継承及び調査・研究に役立て、事業記録として保存した。
学会・研究会への参加	通 年	(公社)日本動物園水族館協会や各種学会が主催する、動物園技術者研究会、中四国野生動物医療・看護勉強会、ゾウ会議、両生類爬虫類会議などに参加・発表した。
オオサンショウウオ調査研究・成果の公開	通 年	平成30年10月6日～7日に滋賀県長浜市で開催された15回 日本オオサンショウウオの会で「安佐動物公園におけるオオサンショウウオの標本管理と研究利用」と題して発表を行った。また、大学・博物館等との共同により、オオサンショウウオの調査研究を推進し、その成果をシンポジウムにより市民に公開した。 (シンポジウム参加者 90人)
研究活動発表会(動物園・植物園・昆虫館共同事業)	2月13日	動物公園の研究成果を市民に発表する場を設け、「安佐動物公園で50年後もユーラシアカワウソ (<i>Lutra lutra chinensis</i>) を展示するために～プリーディング・ローン成果を次代につなぐ～」と題して発表した。 (参加者 29人)

(オ) 野生動物の救護

名 称	時 期	件 数 等			
野生動物の救護	通 年	哺乳類	4 件	7 種	7 点
		鳥 類	24 件	50 種	57 点
		爬虫類	1 件	2 種	2 点
		両生類	0 件	0 種	0 点
		計	29 件	59 種	66 点

ウ 教育・普及

(ア) 社会教育への協力

名 称	時 期	内 容	件 数 等
動物レクチャー・体験型環境学習プログラム	通 年	動物科学館 2 階ホールや動物展示場前において、随時、動物の生態や特徴についての話や体験学習を行った。	80 件 5,203 人
クイズ形式ワークシートの園内配布	通 年	幼時から大人までテーマ別に、クイズ形式のワークシートを作成・配布することにより、動物への関心や興味を喚起する機会を提供した。	配布枚数 21,000 枚
ピーちくパークにおけるふれあい指導	通 年	ポニーの乗馬やテンジクネズミとのふれあい体験の場を提供した。	乗馬 6,888 人 ふれあい 62,154 人
動物クイズラリーの助成	通 年	遠足時におけるクイズラリーの相談を受け、助言やスタンプの貸出しを行った。	22 件
実習生の受入れ	通 年	大学生などを受け入れ、博物館実習（学芸員実習）、飼育実習、獣医臨床実習を行った。	49 人
講演会・研修会への講師の派遣	通 年	児童館や公民館などの要請に基づいて、職員を講師として派遣し、動物の生態や自然などについて講演した。	9 件
教材資料の作製・貸出し	通 年	骨格標本など教材資料を作製し、学校などに貸出した。	骨格標本等教材 72 件 240 点
専門学校と連携したイベント実習	通 年	専門学校と連携して、動物ふれあい活動やミニ動物園などを行い、学生が市民応対を通して、動物愛護思想の普及方法を実習できる機会を提供した。	2 件

名 称	時 期	内 容	件数等
子ども読書まつり 「みどりいっぱい」への協力	4月1日 ～5月20日	市内13か所の図書館、植物公園、昆虫館と連携してスタンプラリー達成者に景品を配布した。5月12日は、ともはと号による移動図書館を開催した。	景品交換 86件
青少年のための 科学の祭典広島 大会への参加	10月27日 ～10月28日	子どもたちが自然科学や科学技術の楽しさを体験する祭典に職員を派遣し、動物に関するレクチャーを行った。	500人

(イ) 学校教育への協力

名 称	時 期	内 容	件数等
出 前 講 座	通 年	小・中学校及び高校に職員を派遣し、動物の生態や動物公園の仕事などについて講座を行った。	22件
理科教育での連携	通 年	近隣にある日浦小学校での理科教育に講師の派遣、園内で体験学習、情報提供等により協力した。	7件
教材生物バザール への参加	5月16日	県立教育センターの要請に基づいて職員を派遣し、教材として動物資料を提供した。	1件
教員対象セミナー の 開 催	8月15日	教員と教員を目指す学生を対象に、主に動物の分類について解説し、教材作りに必要な知識の普及を図った。	16人

(ウ) 市民・団体との協働

名 称	時 期	内 容	参加者数等
動 物 解 説 ボ ラ ン テ ィ ア	通 年	園内で動物解説活動に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 解説ボランティア登録人数：49人	活動延べ人数 228人
作業ボランティア	通 年	園内で花づくりなどの作業に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 作業ボランティア登録人数：44人	活動延べ人数 687人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
大学・専門学校等との協働	通 年	大学・専門学校等と動物公園との相互協力により共同研究などを行った。	麻布大学 1件 岡山理科大学 2件 神奈川県立博物館 1件 岐阜大学 1件 九州大学 1件 神戸大学 1件 国立科学博物館 1件 東邦大学 1件 日本獣医生命科学大学 1件 日本大学 1件 バックネル大学 1件 弘前大学 1件 広島大学 2件 北海道大学 1件 明治学院大学 1件 山口大学 2件
動物たちも応援がんばれサンフレッチェ広島(㈱サンフレッチェ広島)	4月21日	サンフレッチェ広島ホームゲーム会場において、動物や骨格標本の展示、動物に関するミニレクチャーを行い、動物公園をPRした。	70人
鹿角ストラップづくり((公財)広島市文化財団)	4月29日	シカの角を使った縄文風のオリジナルストラップ作りを体験する場を提供した。また、市内で発掘された動物に関する出土品を展示した。	1,003人
むし・花・ZOO-ZOOふれあい広場(㈱広島東洋カーブ)	5月30日	マツダスタジアムで動物ふれあい広場などを行った。	テンジクネズミふれあい 260人 ヒヨコふれあい 484人
みんなで折ろう動物折り紙((社福)はぐくみの里)	6月16日	広島平和記念公園へ贈られた千羽鶴を再生して作った折り紙で、ライオンなどの動物を折ることを通じて、来園者の動物への関心や平和への思いを高めた。	58人
ドリームナイト・アット・ザ・ズー(ジブラルタ生命保険㈱)	8月4日	障害児とその家族及び東日本大震災により福島県から広島市に避難して来られた家族を招待した。	2,638人
夕暮れコンサート((公社)広島交響楽協会)	8月12日	夜間開園で、広島交響楽団による夕暮れコンサートを実施した。	550人
わくわく!安佐動物公園夏休み思い出作り(サンスター(株))	8月26日	動物の歯や生態に関するステージイベント、バックヤードガイド、歯の健康相談などを行った。	1,470人
秋のグリーンフェア2018「いきものランド」(フェア実行委員会)	10月20日 ~10月21日	植物公園で開催された秋のグリーンフェアにおいて、ヒヨコ、ウサギ、テンジクネズミとのふれあいを行った。	参加者数 2,220人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
動物園で計量記念日 (広島市計量検査所・(一社)広島 県計量協会・広島市計量協会)	10月28日	11月1日の計量記念日にちなみ、動物の重 さに関するクイズや解説を実施した。	50人
サンちゃん の 一 日 消 防 隊 長 (安佐北消防署)	11月4日	秋の全国火災予防運動に合わせて、オオサン ショウウオのマスコットキャラクター「サン ちゃん」が「一日消防隊長」として、火災予 防パフォーマンスを行った。	300人
防 災 イ ベ ン ト in 安 佐 動 物 公 園 (国土交通省中国地方整備局、 広島県土木建築局、 広島市危機管理室)	11月25日	国・広島県・広島市の防災担当と連携し、入 園者の防災意識を高めるためのイベントを 開催した。	入園者数 3,664人
ボランティアとの 共 同 イ ベ ン ト	12月1日	ボランティアが中心となり、動物公園のヒツ ジの毛を使ってマスコットを作るイベント 「フェルトでゆきだるま」を開催した。	97人
「広島市立大学 芸術学部日本画展」	12月8日 ～ 1月14日	広島市立大学芸術学部の学生が動物公園で 描いた動物画や動物のいる風景の作品展を 開催した。	展示作品数 20点
虫 タ ッ チ in 安 佐 動 物 公 園 (広島市森林公園こんちゅう館)	12月15日 1月14日 2月9日 2月10日 2月11日	広島市森林公園こんちゅう館との共催によ り、約20種の昆虫とのふれあいや解説を実 施した。	2,888人
動物園で投票体験 (広島市選挙管理委員会)	3月2日	模擬投票等の選挙イベントを実施し、若年層 の選挙に対する関心を高めた。模擬投票の投 票対象を動物公園で実施しているイベントと することにより、動物の知識の普及を図った。	模擬投票者数 680人
Happy Bus 停 プ ロ ジ ェ ク ト (呉工業高等専門学校)	3月13日	バス利用による来園者が、バス待ち時間を楽 しく快適に過ごせるよう、園内出口近くにあ る売店前に、展示動物や広島市の観光地など に関するパネルを設置した。	1件

(エ) 広島動物愛好会の活動

会員内訳

(個人会員：147人、家族会員：48家族183人、賛助会員：4社)

名 称	時 期	内 容	参加者数等
例 会 (第278回～第283回)	4月 8日	「里山を考える」(講話)、園内見学	42人
	6月10日	「ヒヒの生態」、「ヒヒのケガについて」(講話)、園内見学	51人
	8月12日	「アフリカスイギュウの飼育史」(講話)、園内見学	28人
	10月14日	「マンドリルの繁殖」、「ペリカン導入」(講話)、園内見学	46人
	12月 9日	安佐動物公園今年の十大ニュース	48人
	2月10日	「猛禽について」(講話)	36人
会 誌 の 発 行	年 6 回	愛好会の活動や動物公園の出来事などを載せた会誌「ズーミング」を発行した。	各回 250部
す づ く り の 送 付	年 4 回	動物公園の出来事などを載せた「すづくり」を会員に送付した。	各回 250部
自 然 観 察 会	7月 1日	笠岡湾干拓地でセッカ、オオヨシキリ、コサギなどの野生動物の観察とカプトガニ博物館の見学を行った。 場所：岡山県笠岡市	38人
	1月27日	広島市中央公園(広島城)でホシハジロ、キンクロハジロ、カイツブリ、ミサゴ、シジュウカラ、ヤマガラなど22種の野鳥を観察した。 場所：広島市中区(広島城)	40人

(オ) コンクールその他催し物の開催

a コンクール

名 称	時 期	内 容	応募点数等
子ども写生大会 (中国新聞社共催)	5月20日	幼児、小・中学生を対象に、動物公園の動物や園内風景を題材とした写生大会を実施し、優秀作品を表彰した。	応募 437点 入選 198点
動物作文・詩 コンクール	7月1日 ～ 9月14日	小・中学生を対象に、動物に関する作文・詩を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 830点 入選 170点
動物画コンクール	7月1日 ～ 9月14日	動物公園の動物や園内風景を題材とした動物画を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 3,587点 入選 380点
動物写真コンクール	7月1日 ～ 11月30日	動物を題材とした写真を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 471点 入選 42点
安佐南区子ども会 連合会 写生大会 (安佐南区子ども会 連合会 共催)	8月17日	安佐南区子ども会連合会による写生大会を共催により実施した。	参加 621人 応募 353点
動物たちと消防の写生大会 (安佐北区子ども会連合 会・安佐北消防署共催)	3月17日	動物と消防車を題材とした写生大会を実施し、優秀作品を表彰した。	応募 193点 入選 56点

b 観察会

名 称	時 期	内 容	参加者数
ダルマガエルの 目覚め観察会	5月2日	飼育下で冬眠中のダルマガエルをミズゴケから掘り起こす作業を公開した。	13人
モリアオガエルの 産卵観察会	5月27日	園内に生息する野生のモリアオガエルと、その卵塊を観察した。	150人
ビオトープで 生きもの観察会	7月15日	園内に設営したビオトープでカエルや昆虫などの生きものについての観察会を実施した。	100人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・ 昆虫館共同事業)	10月13日	自然に関する理解を深めるため、世羅郡世羅町で動植物や昆虫の観察会を実施した。	24人

c 動物教室その他催し物

名 称	時 期	内 容	参加者数等
まいにち動物解説	通 年	園内での動物解説を毎日時間を決めて数か所で実施した。動物の生態などを分かりやすく解説し、動物への理解を深めた。	16,799 人
バックヤードガイド	通 年 (毎月最終土曜日 を除く各土曜日)	普段は見学することのできない動物舎などに案内し、動物公園の仕事や動物への理解を深める機会を提供した。	83 回 1,800 人
サンちゃんツアー (オオサンショウウオ保護 増殖施設ガイドツアー)	通 年 (毎月最終土曜日)	毎月1回、オオサンショウウオ保護増殖施設を案内し、オオサンショウウオの保護活動が環境保全に繋がることを伝え、参加者の保護意識の かん養を図った。	12 回 174 人
動物記念日 キャンペーン	4月15日 4月27日 5月30日 6月10日 6月17日 9月15日 9月22日 3月 3日	「飼育の日」、「世界バクの日」、「世界キリンの日」などの動物の日に関連して開催するイベントに参加し、参加カードを3枚集めると記念品がもらえる「動物の日ラリー」を実施した。	参加者数 407 人 達成者数 32 人
動物公園春まつり	4月 1日 ～ 5月 6日 3月10日 ～ 3月31日	春の行楽シーズン中の各土・日曜日、祝日に様々な催し物を実施し、動物に関する知識の普及と入園者の増加を図った。	入園者数 118,764 人
動物観察エサ やり体験デー	4月 1日 3月23日 3月30日	キリン、ヤギ、ヒツジへのエサやり体験を通じた動物とのふれあいの場を提供した。	キリン 50 人 ヤギ・ヒツジ 193 人
飼育の日イベント 「飼育係あるあるとおーっく」	4月15日	4月19日の「飼育の日」にちなみ、飼育係が動物の飼育に関する日頃の体験などを語るトークショーを開催した。	250 人
世界バクの日 イ ベ ン ト	4月27日	4月27日の「世界バクの日」にちなみ、マレーバクの解説や啓発パネルの展示を行った。	94 人
ヒツジの毛刈り	5月 3日 5月 4日	ヒツジの毛刈りを行い、その様子を一般公開した。	1,100 人
糸つむぎ体験	5月 5日	ヒツジの毛刈りで刈り取った羊毛から毛糸を紡ぐ体験コーナーを設けた。	84 人
ア ニ マ ル バルーンアート	3月21日 3月24日	色とりどりのペンシルバルーンを巧みに操り、様々なかわいい動物を作り出すバルーンアート教室を開催した。	680 人
クロサイのハナに 会 い に 行 こ う	4月～8月 (毎月最終土曜日)	毎月1回、世界最長寿のクロサイ「ハナ」の飼育施設を案内し、クロサイに関する知識の啓発を図った。	4 回 33 人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
スマートフォン等用 園内ガイドアプリを 活用したイベントの実施	5月 6日 6月 3日 9月 9日	園内ガイドアプリのフォトアルバム機能の 7つのカテゴリーごとに指定されたすべての 種名の動物の写真を撮影するイベントを実施 した。	達成者数 153人
世界カワウソの日 特 別 解 説	5月30日	「世界カワウソの日」にちなんで飼育担当者 による動物解説を行った。	49人
オウム・インコデー インコと記念撮影	6月10日	6月15日の「オウム・インコデー」にちな み、希少動物であるインコについて解説し、 記念撮影コーナーやインコ相談コーナーを 設置した。	111人
世界キリンの日 イベント～キリン のことを知ろう～	6月17日	「世界キリンの日」にちなみ、アミメキリンの 解説や啓発パネルの掲示などを行った。	100人
獣 医 へ 入 門	6月24日	小学校4～6年生を対象に獣医の仕事 を体験しながら、動物の体の構造について学習 した。	27人
おめでとう長寿世界一！ クロサイのハナ	7月14日	非公開としているクロサイの雌「ハナ」が 52歳となり、長寿世界記録を更新したこと を記念して、安佐動物公園に来園した7月 14日に特別公開と、お祝いセレモニーを行 った。	缶バッジ配付 200人 特別公開 51人 セレモニー参加者 40人
動 物 へ 暑 中 お 見 舞 い	7月22日	大暑に、果物の入った氷やスイカなどをリク ガメやゾウに与えた。入園者にもかき氷をプ レゼントした。	参加者数 70人 かき氷プレゼント 50人
サマースクール	7月25日 7月27日	小学校4～6年生を対象に飼育実習を行い、 動物の飼育方法や動物の暮らしについて学 ぶ機会を提供した。	65人
夜 の 動 物 園 で 動 物 観 察 (寄 附 者 対 象)	8月 4日	みどり生きものサポーター等の寄附者を夜 の動物公園に招待し、動物たちの夜間特有の 行動を観察した。	20人
動物園で折り鶴 を 折 ろ う	8月 5日	8月6日の前日の日曜日に、折り鶴を折るイ ベントを開催し、参加者には缶バッジを配布 した。折り鶴は8月6日に入退場門に掲出し た。	22人
開園記念日行事	9月 1日	開園47周年を迎え、入園者に記念品を配布 した。	配布数 200個
動物公園秋まつり	9月15日 ～11月25日	秋の行楽シーズン中の各土・日曜日、祝日に 様々な催し物を実施し、動物に関する知識の 普及と入園者の増加を図った。	入園者数 138,026人
レッサーパンダの日 動 物 解 説	9月15日	9月の第3土曜日が「国際レッサーパンダ デー」であることにちなみ、安佐動物公園で飼 育しているレッサーパンダの生態などにつ いて飼育係が解説した。	32人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
動物たちの 長寿を祝う会	9月17日	敬老の日に、長寿の動物(チリーフラミンゴ)の表彰式を行い、入園者とともに祝った。	50人
スポットガイド 「Zoo〜つとよれば?」	9月17日	動物の体の特徴的な一部分を入園者に観察してもらうスポットガイドを実施した。	110人
世界サイの日 クロサイのことを知ろう	9月22日	「世界サイの日」にちなみ、クロサイの生態や野生の現状について、クイズを交え、解説を行った。	31人
動物愛称募集 及び命名式	10月6日 ~10月21日	マンドリルの愛称を入園者から募集するとともに、愛称の命名式を行った。 (命名式11月3日 愛称アサマル)	応募数 1,218票
Zoo cafe (飼育係と動物トーク)	10月7日 10月14日 10月21日	10月の日曜日に飼育係が入園者と対話しながら動物の不思議や飼育のこぼれ話などをするサイエンスカフェを開催した。	340人
動物講演会	11月17日	「広島県にもいる生きた化石カブトガニ この宝を次世代に残そう」と題し、市民を対象にした講演会を開催した。	37人
はたらく動物に 感謝の日	11月23日	勤労感謝の日に、ポニー、テンジクネズミ、ヤギを表彰してニンジンなどをプレゼントし、それにまつわるクイズを出題した。	30人
動物観察エサ やり体験デー	11月25日	入園者がキリンへのエサやりを体験し、食べ方などを間近で観察できる体験デーを実施した。	50人
動物公園冬まつり	12月1日 ~2月24日	冬季の各土・日曜日、祝日に様々な催し物を実施し、動物に関する知識の普及と入園者の増加を図った。	入園者数 73,227人
動物観察エサ やり体験デー	12月1日 12月2日 12月8日 12月9日	入園者がキリン、ヤギへのエサやりを体験し、食べ方などを間近で観察できる体験デーを実施した。	キリン 99人 ヤギ 163人
クリスマス カープ選手が プレゼント	12月16日	広島東洋カープの一岡選手を招聘し抽選で入園者に賞品をプレゼントした。	350人
元気に冬越し 冬至はかぼちゃ	12月22日	冬至に、ゾウやアヌビスヒヒなどにかぼちゃを与え、動物たちの健康を願った。	110人
動物園で しめ縄作り体験	12月23日	お正月に向けて、日本固有の文化であるしめ縄作りを行う体験イベントを開催した。	100人
元日干支の動物缶 バッジをプレゼント	1月1日	元日に、干支の動物「亥」(イノシシ)をデザインした缶バッジを入園者にプレゼントした。	100人
新春干支の 動物がお出迎え	1月2日	新年を迎えるイベントとして、亥の着ぐるみと広島観光親善大使が来園者をお出迎えした。	80人
新春子ども もちつき体験	1月3日	新春を祝う行事として、子どもたちによるもちつき体験を行った。	80人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
新春動物かるたで遊ぼうよ!	1月6日	安佐動物公園の展示動物の特徴を紹介したオリジナル動物かるたを使ったかるた取りを開催した。	100人
動物愛称募集及び命名式	1月18日 ～ 2月3日	ライオン3頭の愛称を入園者から募集するとともに、愛称の命名式を行った。 (命名式2月16日 愛称 サン・アース・ムーン)	応募数 3,445票
オリジナル缶バッジ作り	1月20日	動物への関心を高め、動物公園での思い出が形として残るよう、オリジナル缶バッジを作る工作教室を開催した。	255人
まんが動物園&動物まんがクイズラリー	(漫画展示) 2月1日 ～ 2月24日 (クイズラリー) 2月10日 2月17日 2月24日	飼育係が描いたまんが解説パネルを展示し、そのまんがを題材にしたクイズラリーを行った。	2,912人
動物園でぬり絵を楽しもう	2月3日	動物の模様などのぬり絵と解説を通じて、動物に関する知識の普及を図った。	78人
動物脱出対策公開訓練	2月11日	ツキノワグマが脱出したという想定で動物脱出対策公開訓練を行った。	入園者数 2,096人
世界野生生物の日イベント	3月3日	「世界野生生物の日」に、その制定由来となる「ワシントン条約」と深く関係するアフリカゾウについて特別解説を実施した。	20人
親子動物教室	3月16日	親子を対象に、動物の生態の観察や動物とのふれあい体験を行った。	7組 14人

(カ) 学校教育活動の受入れ

名 称	時 期	内 容	参加者数等
なかよし動物教室	通 年	生きものへの関心を深めるため、保育園・幼稚園の園児を対象に、ポニーの乗馬やヤギ、テンジクネズミとのふれあいの場を提供した。	118件 3,181人
職場体験の受入れ	通 年	近隣にある日浦中学校の職場体験を受け入れた。	1件 6人
進路総合学習の受入れ	通 年	小・中学校や高等学校の進路総合学習の一環として行う職場見学を受け入れた。	8件 756人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
環境学習の受入れ	通 年	広島市立小・中学校が行う環境学習を受け入れた。	29 件 2,205 人

(キ) 企画展その他展示会の開催

名 称	時 期	内 容
動物たちと消防の写生大会 入 賞 作 品 展	4月 7日 ～ 4月15日	「動物たちと消防の写生大会」の入賞作品を展示した。
動物写真コンクール 入 賞 作 品 展	4月28日 ～ 5月27日	「動物写真コンクール」の入賞作品を展示した。
子ども写生大会 入 賞 作 品 展	6月 9日 ～ 7月 1日	中国新聞社と共催で行った「子ども写生大会」の入賞作品を展示した。
企 画 展 示 「アフリカの動物たち」	7月21日 ～10月21日	パネルや動画などでアフリカゾウやキリンなどの動物を紹介した。
動物画コンクール 入 賞 作 品 展	11月 3日 ～11月25日	「動物画コンクール」の入賞作品を展示した。
市 民 公 募 展 「小幡真・細木 陽平 絵画展」	2月 9日 ～ 3月24日	障がい者アーティストの才能を活かす事業「アートビリティ」に登録されている小幡真・細木陽平、両作家の油彩・アクリル画展を開催した。

(ク) 広報普及

名 称	時 期	内 容	件 数
マスコミ広報	通 年	テレビ局・ラジオ局・新聞社・出版社などを通じて、催し物や赤ちゃん誕生などの話題を広報した。	広報件数 92 件 取材件数 226 件 《取材件数の内訳》 テレビ 81 件 ラジオ 56 件 新聞 80 件 その他 9 件
近隣縣市町訪問広報	通 年	職員を派遣し、動物園で実施しているイベントや社会教育活動等をPRした。	2 件
観光事業所との連携	通 年	観光事業所に職員を派遣し、動物公園事業をPRし、観光客の来園を促した。また、広島観光コンベンションビューローなどと連携して、観光客の増加を図った。	5 件

名 称	時 期	内 容	件 数 等
催し物案内ポスター・PR用チラシの配布	通 年	市内郵便局ネットワークを利用して、動物公園のPR用チラシを公共施設や観光事業所に配布した。	1,361 か所
動物写真パネルの貸出し	通 年	動物の写真パネルやまんがを公共施設や事業所などに貸し出し、これらの場所を動物公園のPRの場とした。	写真パネル 13 か所 260 点
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより施設の紹介、催し物、赤ちゃん誕生などの最新情報を提供した。	145 件
ツイッターによる広報	通 年	情報共有力・拡散力の高いツイッターにより、施設、イベントなどの魅力ある情報を速やかに発信した。	503 件
動物解説広場の実施	通 年	ジ・アウトレット広島やサンフレッチェ広島ホームゲーム会場において、動物や骨格標本の展示、動物に関するレクチャーなどを行い、動物公園をPRした。	2 件
マスコットキャラクターを利用したPRの実施	通 年	オオサンショウウオのキャラクターの着ぐるみ「サンちゃん」等を積極的に園内外のイベントに参加させ、動物公園のPRを行った。	3 件
保育園・幼稚園・小学校へのPR	通 年	市園長会、市小学校校長会等でPR活動を行い、遠足の誘致を図った。	2 件
近隣団地へのPR	通 年	リピートが期待できるあさひが丘団地の連合自治会に巡回バス運行のお知らせやチラシを配布し、入園者の増加を図った。	1 件
有料の広告媒体による広報	通 年	イベントチラシの新聞折込、FMラジオなど有料の広告媒体を利用して集客を図った。	4 件
公共交通機関利用者へのPR	通 年	JR広島駅やアストラムライン上安駅、新白島駅及び県庁駅前に「夜間開園（ナイトサファリ）」のポスター等を掲示し、集客を図った。	4 件

(ケ) 出版物の発行

名 称	内 容	発行部数
「すづくり」 「飼育記録集」	動物公園のニュース、動物の飼育記録や生態などを紹介した「すづくり」及び飼育動物の生態に関する研究や飼育技術などについての発表をまとめた「飼育記録集」などを発行、配布し、動物に関する知識の普及や動物園事業の周知を図った。	すづくり 4 回計 3,400 部 飼育記録集 220 部

(コ) 動物に関する相談

名 称	時 期	件 数	
動 物 相 談	通 年	飼育相談	51 件
		野生動物の救護	24 件
		引取依頼	52 件
		有害鳥獣の駆除対策	33 件
		その他一般相談	117 件
		計	277 件

③ 植物公園の管理運営〔公2事業〕

広島市から指定（期間：平成30年4月1日～令和4年3月31日）を受けた広島市植物公園における植物の栽培・展示、収集及び栽培管理、入園料の収受、施設の維持管理などを行い、入園者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れや講座その他催し物の開催など各種事業を実施し、植物に関する知識及び植物愛好心の普及、かん養並びに植物愛好者の育成を図った。

ア 植物の栽培・展示など

(7) 植物の栽培・展示

〔展示場所〕 主な展示植物	内 容
〔大温室〕 ヤシ、ラン、オーストラリアバオバブ、熱帯果樹など	約700品種5,000株の亜熱帯、熱帯植物を熱帯の水辺、熱帯の花、熱帯の果実などにゾーニングしたエリアに植栽した亜熱帯、熱帯植物を立体交差やバリアフリー対策を新たに施した通路から観賞できるようにした。最高部が21mある温室の大きさを活かし、巨大な熱帯植物とそれらが醸し出す熱帯の雰囲気を感じることができる展示を行った。また、シンボルツリーとして導入した国内最大のオーストラリアバオバブを活用してタッチングイベントを8月と10月に行った。
〔サボテン温室〕 サボテンなど	サボテン類や多肉植物約320品種500株を科ごとに分けて植栽し、説明板や写真パネルを付けて展示した。乾燥地に適応した特異な形態や植物の適応戦略の面白さを知ること、生き物に対する興味の高揚を図った。
〔熱帯スイレン温室〕 熱帯スイレンなど	多彩で美しい花を咲かせる約50品種100株の熱帯スイレンを植栽し、エキゾチックな憩いの空間を提供した。7月から12月にかけては改修工事を実施したため、工事期間中は温室を閉鎖した。そのため、熱帯スイレンは大温室内の正面池で、オオオニバスは大温室正面外の仮設プールで展示を行った。オオオニバス試乗体験会は実施できなかった。子どもに人気の高い食虫植物は工事期間中は大温内に移設し、展示した。
〔ベゴニア温室〕 球根ベゴニアなど	季節を問わず美しい花を楽しむことのできる癒しの空間を提供するために冷暖房と電気照明設備を活用し、世界で最も美しい花の一つと言われる球根ベゴニアを周年開花させ、680品種の様々なベゴニアと合わせて展示した。また、球根ベゴニアの生育過程を解説展示することで、植物を育てることに興味を抱く機会を提供した。
〔フクシア温室〕 フクシア、野生ランなど	風鈴のようにチャームな花を咲かせるフクシア約220品種230鉢を周年展示し、非日常的な植物の美しさを楽しむ場とした。また、野生ランコーナーでは当園の主要なコレクションである世界の野生ランを、解説パネルなどを交えて展示し、ランの不思議な世界を観賞できるようにした。

〔展示場所〕 主な展示植物	内 容
〔日本庭園〕 ウメ、ハナショウブ、 アジサイなど	本格的な茶室を中心に、ウメ、ハナショウブ、アジサイ、モモ、コケの見本園など和風の植物を植栽し、落ち着いた雰囲気できつろげる空間を提供した。ハナショウブ園では後世に伝えたい古花の展示に努め、江戸期に育成された古花を中心に1,000株を展示するなど、他の大規模なハナショウブ園との差別化を図った。また、最奥部では自生地に近い環境を生かし、ヤマアジサイ、エビネの植栽展示を行った。
〔樹林観察園〕 シイ類、ブナ、カエデ類など	西南日本の常緑広葉樹林と落葉広葉樹林の構成種を植栽し、これらの樹林の環境や樹木について現地に行くことなく体感、学習できる場を提供した。
〔こども花壇〕 パンジーなど	春にパンジー、夏にキバナコスモス、秋にコスモスの迷路を作り、子どもが楽しめる場を提供した。
〔展示資料館壁面・ 通路スペースなど〕 アサガオの巨大カーテン、 巨大ダリアなど	技術力が必要な巨大な植物、珍しい植物など入園者に驚きを与える植物の展示を行った。

【植物の栽培展示数】

(平成31年3月31日現在)

区 分	種 類	本 数
大 温 室	700 品種	5,000 本
サ ボ テ ン 温 室	320 品種	500 本
熱 帯 ス イ レ ン 温 室	100 品種	600 本
ベ ゴ ニ ア 温 室	680 品種	2,000 本
フ ク シ ア 温 室	260 品種	300 本
栽 培 温 室	3,900 品種	32,500 本
バ ラ 園	700 品種	1,000 本
ツ バ キ 園	200 品種	600 本
花の進化園、樹林観察園その他	3,140 品種	154,500 本
合 計	10,000 品種	197,000 本

(イ) 植物の収集及び栽培管理

名 称	内 容
展示・保存植物の維持、充実	計画的な増殖や種子・種苗の交換などにより、展示植物や保存植物の維持、充実を図った。
栽培下における増殖	サクラソウ、ハナショウブ類など希少な植物や、球根ベゴニアやフクシアなど周年展示している展示上重要な植物の増殖を行った。
種子・種苗の交換	国内外の植物園などと種子の交換を行い、多くの植物を収集して、貴重な種の保存を行うとともに、育苗して植栽・展示し、植物に関する知識の普及を図った。 譲受け : 16か国 33か所 84種 譲渡し : 国内2施設 4種
種苗の導入	ランの原種やバオバブなどの珍しい植物のほか、市場などの情報調査によって、季節ごとに展示する魅力ある植物を導入した。
植物の栽培管理	生育状態を良好に保ち、病虫害被害の発生を未然に防ぐため、品種ごとに灌水、施肥、剪定、温度・湿度の管理、必要に応じた薬剤散布などを適切に行い、栽培環境の向上を図った。

(ウ) 入園料の収受（利用料金制）

【入園状況】

区 分				入園者数	使用料		
有料入園者	個人	大人	18歳以上65歳未満	510円	53,696人	27,384,960円	
			65歳以上	170円	23,038人	3,916,460円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	170円	619人	105,230円	
	年間パスポート	購入	大人	18歳以上65歳未満	1,540円	2,614人	4,025,560円
				65歳以上	510円	1,571人	801,210円
			小人	18歳未満(小・中学生を除く)	510円	9人	4,590円
		提示	大人	18歳以上65歳未満	—	10,911人	—円
				65歳以上	—	6,659人	—円
			小人	18歳未満(小・中学生を除く)	—	7人	—円
	団体	大人	18歳以上65歳未満	430円	1,886人	810,980円	
			65歳以上	130円	862人	112,060円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130円	0人	0円	
	優待割引	大人	18歳以上65歳未満	430円	17人	7,310円	
			65歳以上	130円	2人	260円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130円	1人	130円	
	小 計				101,892人	37,168,750円	
減免等入園者(小・中学生、社会福祉施設、その他)				87,187人	0円		
合 計				189,079人	37,168,750円		

(エ) 利用促進

名 称	時 期	内 容	入園者数等
年間パスポートの販売 (動物園・植物園・ 昆虫館共同事業)	通 年	より多くの方に植物公園の魅力に触れる機会を提供するため、動物公園・昆虫館と共通で利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。	販売枚数 4,194 枚
電動カートの運行	通 年	毎週土・日曜日、祝日に勾配のある園内の移動手段として、電動カートを巡回し、入園者サービスの向上を図った。	12,404 人
さくらまつり	4月 1日 ～ 4月30日 (土・日・祝日)	桜の見頃時期に合わせ、桜観賞会や写真撮影講習会、コンサートなどのイベントを実施し、入園者の増加を図った。	16,139 人
夜 間 開 園	4月 7日 4月 8日 4月14日 4月15日 9月 8日 9月 9日 9月15日 9月16日 9月22日 9月23日 11月24日 11月25日 12月 1日 12月 2日 12月 8日 12月 9日 12月15日 12月16日 12月22日 12月23日 3月30日 3月31日	夜に開花する植物(オオオニバス・サガリバナ・月下美人)、夜に香る植物(夜香木、夜来香)、桜などのライトアップや、キャンドルとイルミネーションを使った幻想的な空間づくり、コンサートなどを行い、植物公園の魅力を向上させ、入園者の増加を図った。	夜間入園者数 (16時以降の入園者数) 438 人 590 人 81 人 287 人 109 人 105 人 813 人 3,058 人 1,843 人 2,539 人 2,592 人 1,088 人 2,776 人 830 人 2,077 人 1,392 人 2,891 人 222 人 2,619 人 2,662 人 607 人 472 人 合計 30,091 人
休 園 日 の 開 園	4月13日 5月 2日 10月26日 11月22日	造幣局花のまわりみち、ゴールデンウィーク及び秋のグリーンフェア期間中の休園日を開園し、利用者に対するサービスの向上を図った。	544 人 255 人 319 人 99 人 合計 1,217 人
みどりの日・植物園の日 記 念 行 事	5月 4日	みどりの日と植物園の日を記念し、花苗のプレゼントやコンサートなど様々なイベントを実施した。	5,382 人

名 称	時 期	内 容	入園者数
区民ウォーキング大会 i n 植 物 公 園 (佐伯区役所共同事業)	5月26日	手軽な健康づくりの場としての利用を通じて、植物公園の利用促進を図るため、市民を対象にウォーキング大会を実施した。	390人
サマーフェア	7月21日 ～ 8月30日	夏休み期間中を中心に、芝生広場での巨大噴水迷路などを実施し、入園者の増加を図った。	25,962人
秋のグリーンフェア 会場としての利用	10月20日 ～10月28日	秋のグリーンフェアの会場として期間中の入園料を無料とし、入園者サービスの向上並びに入園者数及び収入(駐車料など)の増加を図った。	12,637人
開園記念日 記念行事	11月3日	開園42周年を記念し、セダムの花苗プレゼントやコンサート、丸太切り体験など様々なイベントを実施した。	2,215人
バレンタイン フェスティバル	2月9日 ～ 2月11日	コンサートやチョコ作り体験会、99本のバラの花束を持った記念撮影コーナーなど様々なイベントを実施した。	1,510人

(オ) 施設の維持管理・園内サービス

名 称	時 期	内 容
施設の維持管理	通 年	入園者に安全・快適な観察環境を提供するため、園内の清掃・警備を行った。また、温室などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	入園者が快適に観察できるよう、標識、リーフレットや園内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
QRコードによる 情 報 提 供	通 年	QRコードを利用して、園内植物等に関する情報を入園者に提供した。
樹木ラベルの充実	通 年	樹木ラベルの追加・更新、雌雄の表示を行った。

イ 生物多様性の保全

(ア) 他団体との連携

名 称	時 期	内 容	件 数
都市における自然環境保全活動	通 年	広島市の保存樹・保存樹林指定審査会への参加により、都市空間における自然環境保護の推進に寄与した。	1 件
希少植物の保護	通 年	(公社)日本植物園協会からの受入れ要請に基づき、ワシントン条約違反の任意放棄植物を保護した。	1 件
日本植物園協会第53回大会開催	6月19日 ～ 6月21日	日本全国の植物園等で構成する日本植物園協会の総会を当園が開催園となって実施し、研究発表会、シンポジウムなどを行った。	1 件

(イ) 生息域内保全

名 称	時 期	内 容	件 数
生息地における絶滅危惧植物の保全	通 年	世羅郡世羅町など広島県内の自生地において、絶滅に瀕したヤチシャジンの調査や保全活動を行った。	5 件

(ウ) 生息域外保全

名 称	時 期	内 容	種 数 等
生息地以外における絶滅危惧植物の保全	通 年	様々な野生ラン、ヤチシャジン、ヒゴタイなど広島県内産種を中心に、日本の絶滅危惧植物を保全した。また、(公社)日本植物園協会の多様性保全拠点園事業に参加し、「植物多様性保全2020年目標」達成に貢献した。	日本産 約120種 ワシントン条約 75種
園芸植物遺伝子の保護	通 年	変化アサガオ、日本サクラソウ、バラやランなどの古い園芸品種など、保護が必要な園芸植物を栽培・保存した。(公社)日本植物園協会が行うナショナルコレクション検討委員会に参加し、「植物多様性保全2020年目標」達成に貢献した。	66種 約400系統 検討会 2件

(エ) 植物に関する調査・研究

名 称	時 期	内 容
植物に関する調査・研究	通 年	《植生調査》 主に県内の植物分布などの調査を行い、希少植物や分布上貴重な植物について、自生状況を記録するとともに保護に努めた。
		《成果の公表》 植物に関する調査・研究活動により得られた知見を学会や印刷物により公表した。
新品種の保護	通 年	農林水産省からの依頼による、種苗法に基づく新規出願品種の現地調査員、種苗登録に関する基準案作成検討委員としての活動により、新品種の保護に努めた。
各種資料の収集	通 年	植物の標本及び植物に関する書籍・雑誌・資料を収集し、栽培や調査・研究に役立てた。
植物標本の活用	通 年	広島県内の植物標本庫における相互ネットワークを構築し広島大学などの県内の標本庫と情報交換を行った。
研究活動発表会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	2月13日	植物公園の研究成果を市民に発表する場を設け、「広島市植物公園大温室リニューアルについて」と題して発表した。 (参加者 48人)

ウ 教育・普及

(ア) 社会教育への協力

名 称	時 期	内 容	件数等
講習会・研修会などの開催及び講師の派遣	通 年	団体の要請に基づいて、随時、植物公園で講習会・研修会などを開催するとともに、職員を講師として派遣した。	7 件
実習生の受入れ	通 年	大学生などを受け入れ、博物館実習(学芸員実習)などを行った。	6 件 10 人
子ども読書まつり「みどりいっぱい」への協力	4月 5日 ～ 6月27日	(公財) 広島市文化財団の各図書館が実施する子ども読書まつりに協力し、講演会の講師や植物展示パネルの貸出展示等を行った。	講演会 39 人
森の幼稚園を活用した保育者指導	6月 3日 10月 7日	幼児教育の専門家を招き、保育者等を対象とした自然体験プログラムの指導を行った。	23 組 60 人 17 組 34 人

(イ) 市民・団体との協働

名 称	時 期	内 容	活動者数等
植 物 解 説 ボ ラ ン テ ィ ア	通 年	園内で植物解説活動に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 (解説ボランティア登録人数：59人)	活動延べ人数 1,205人
植 物 管 理 ボ ラ ン テ ィ ア	通 年	園内で植物管理に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 (管理ボランティア登録人数：20人)	活動延べ人数 427人
地 域 団 体 な ど と の 協 働	通 年	造幣局広島支局「花のまわりみち」の桜樹育成指導や文化活動などにより、地域の活性化を図った。また、(公社)日本植物園協会総会の開催や展示協力などを行った。	29件 《内訳》 造幣局桜樹育成指導 2件 造幣局今年の花選定 1件 佐伯区百人委員会花部会 10件 さえきフラワープロジェクト 8件 広島県ラン展 4件 広島平和文化センター重慶の日記念行事 1件 古市小学校樹木診断と管理指導 1件 やまぐち・ラン展 in 柳井 1件 徳山蘭友会第104回春の洋ラン展 1件
グ リ ー ン ・ レ ガ シ ー ・ ヒ ロ シ マ へ の 協 力	通 年	被爆樹木の種子を国内外の都市へ送付する活動に対し、種子の保存や送付の協力を行った。また、被爆樹木のラベル取付作業に協力した。	23件
花 と 緑 の 広 島 づ く り の 推 進	通 年	緑化推進部・区役所・地域団体と連携して、地域の花壇作り等の活動を行うグループへの講習会を実施した。	1件

【愛好者団体による展示会】

名 称	時 期	内 容
おし花美術作品展	4月7日 ～ 5月6日	身近な草花や花木を素材としたおし花の美術作品を展示した。
エ ビ ネ 展	4月21日 ～ 4月25日	日本の野生ランの中で最も美しく、花色の多いエビネを展示した。
春 の 山 野 草 展	4月21日 ～ 4月26日	春咲きの山野草を野趣あふれる鉢作りで展示した。

名 称	時 期	内 容
クレマチス展	4月28日 ～ 5月 6日	テッセンやカザグルマの名で親しまれる色とりどりの大輪の花が美しいクレマチスの仲間を展示した。
セッコク・長生蘭展	5月 5日 ～ 5月10日	日本の野生ランであるセッコクとその中で斑入などの特徴を持ち長生蘭と呼ばれる品種を展示した。
趣味のボタニカルアート展	5月 8日 ～ 6月 6日	ボタニカルアート(植物細密画)を展示した。
遅咲きクレマチス展	5月26日 ～ 5月29日	小型で可愛らしいヴィチセラ系や遅咲き大輪系を中心にクレマチスの仲間を展示した。
初夏の小品盆栽展	6月 9日 ～ 6月14日	フウチソウやツツジなど、初夏に見頃の植物を小鉢仕立てで展示した。
ウチョウラン展	6月 9日 ～ 6月14日	初夏に可憐な花を咲かせる小型の野生ランであるウチョウランを岩付けや大鉢作りで展示した。
私の好きな花たちの写真展	6月17日 ～ 7月25日	身近な植物を題材とした写真を展示した。
ボタニカルアート作品展	7月28日 ～ 9月 5日	ボタニカルアート(植物細密画)教室の作品を展示した。
植物友の会作品展	9月 8日 ～ 9月16日	広島市植物公園植物友の会会員による鉢花や植物写真、美術作品、クラフトなどを展示した。
野生きのこ展	9月29日 ～ 9月30日	広島県に自生する様々なキノコを展示した。
サボテン展	9月29日 ～10月14日	変化に富んだサボテンや多肉植物を展示した。
秋の山野草展	10月 6日 ～10月11日	秋咲きの山野草を野趣あふれる鉢作りで展示した。
ガーデニングコンテスト作品展	10月27日 ～11月 4日	一般公募によるコンテナガーデン(花の寄せ植え)とハンギングバスケットを展示した。
ハンギングバスケット展	10月27日 ～11月 4日	ハンギングバスケットを展示し、作り方などを紹介した。
寒 蘭 展	11月10日 ～11月15日	東洋蘭の中でも特に清楚で気品のある寒蘭を展示した。
新春小品盆栽展	1月 5日 ～ 1月 7日	松・竹・梅など、新春を飾るにふさわしい植物を小鉢仕立てで展示した。
植 物 写 真 コンテスト作品展	1月12日 ～ 2月 5日	園内の植物や風景をテーマに募集した植物写真コンテストの入賞作品を展示した。

名 称	時 期	内 容
おもと(万年青)名品展	2月13日 ～ 2月18日	葉の斑入り模様や形の変化が面白い万年青を展示した。
クリスマスローズ展	2月23日 ～ 3月 3日	多彩な花色と品種に人気があるクリスマスローズを展示した。
フラワーデザイン展	3月 2日 ～ 3月 7日	切り花やドライフラワーなど様々な素材を生かしたフラワーデザインの作品を展示した。
「草木染の世界」展	3月 9日 ～ 4月 4日	草木を使った染物と染色に利用される植物などを展示し、作品などについて解説した。

(ウ) 植物友の会の活動

会員内訳

(個人会員：102人、家族会員：11家族26人、賛助会員：8社)

名 称	時 期	内 容	参加者数等
例 会	5月13日	園内植物観察 講演「オーストラリアへの旅」	21人
	7月 8日	夏の園芸作業、園内植物観察	25人
	9月16日	秋の園芸作業、園内植物観察	27人
	11月18日	冬の園芸作業、園内植物観察	20人
	1月13日	講演「身になる実の話、ネタになる種の話」 園内植物観察	34人
	3月10日	総会、春の園芸作業	36人
会誌の発行	年4回	植物の話題や友の会の活動、植物公園の出来事などを載せた会誌「はなの輪」を発行した。	夏号 300冊 秋号 300冊 冬号 300冊 春号 300冊
野 外 観 察 会	7月15日	ときわミュージアムとやまぐちフラワーランドの観察を行った。 場所：山口県宇部市、柳井市	19人
	10月21日	寂地峡周辺の自生植物の観察を行った。 場所：山口県岩国市 講師：山口富美夫氏	13人
	12月 2日	二葉山周辺の自生植物の観察を行った。 場所：広島市東区 講師：吉野由紀夫氏	16人
講 習 会	8月25日	木の実を用いたクラフト作りを行った。	2人

(エ) 講座その他催し物の開催

a 講座

名 称	時 期	内 容	参加者数
ガーデニング講座 ～基礎から応用まで～	4月24日	ハンギングバスケットの寄せ植え	20人
	11月24日	寄せ植えコンテナ作り	18人
暮らしに役立つ ハーブ講座	7月14日	ハーブティー、安眠枕作りなど	11人
	7月21日	ハーブティー、安眠枕作りなど	11人
	7月28日	ハーブティー、安眠枕作りなど	11人
植物学入門講座	10月 3日	植物の環境適応 (1)	10人
	10月10日	植物の環境適応 (2)	10人
	10月17日	植物の環境適応 (3)	10人

b 講習会・実演会

名 称	時 期	内 容	参加者数
さくら写真撮影講習会	4月 7日	初心者向けにサクラの写真の撮り方について指導した。	15人
	4月15日		15人
緑のカーテン講習会	4月21日	アサガオやゴーヤなどを使った緑のカーテン作りについて指導した。	4人
春の山野草実演会	4月22日	春の山野草の栽培方法について実演指導した。	26人
エビネ実演会	4月22日	エビネの育て方について実演指導した。	41人
クレマチス実演会	5月 3日	クレマチスの育て方について実演指導した。	40人
セッコク実演会	5月 6日	日本の野生ランであるセッコクの育て方について実演指導した。	15人
ボタニカルアート 色付け講習会	5月20日	ボタニカルアート(植物細密画)の色付けについて指導した。	12人
ハーブ実演会	5月20日	ハーブの寄せ植えや使用方法を指導した。	51人

名 称	時 期	内 容	参加者数
バラ講習会	5月27日	「バラと草花のあわせかた」と題して、村上敏氏による講演を行った。	80人
アジサイ実演会	6月3日 6月9日	アジサイの育て方について実演指導した。	23人 42人
ハナショウブ実演会	6月10日	ハナショウブの育て方について実演指導した。	23人
小品盆栽実演会	6月10日 1月6日	小品盆栽の仕立て方、育て方について実演指導した。	10人 15人
植物写真撮影講習会	6月24日	植物の写真の撮り方について指導した。	7人
食虫植物実演会	7月22日	食虫植物を紹介し、栽培方法や魅力について実演指導した。	65人
秋の山野草実演会	10月7日	秋の山野草の栽培方法について実演指導した。	14人
ガーデニング実演会と解説	10月28日	ガーデニングコンテストの解説を行った。	6人
寒蘭実演会	11月11日	寒蘭の育て方について実演指導した。	5人
クリスマスリース作り講習会	11月25日	クリスマスリースの作り方について指導した。	39人
チョコ製造体験会	2月10日	カカオニブ磨砕実演会と称し、専用石うすによるチョコの製造を実演指導した。	230人
トリュフチョコ実演会	2月11日	トリュフチョコの製造を実演指導した。	90人
おもと(万年青)実演会	2月16日	万年青の栽培管理について実演指導した。	8人
クリスマスローズ実演会	2月23日 2月24日 3月2日 3月3日	クリスマスローズの育て方について実演指導した。	24人 34人 29人 14人
洋ラン実演会	2月24日	洋ランの育て方等について実演指導した。	40人

名 称	時 期	内 容	参加者数
フラワーデザイン 実 演 会	3月 3日	暮らしの中のフラワーデザインについて実演指導した。	51人
熱 帯 の 花 栽 培 講 習 会	3月16日	熱帯の花の栽培管理について実演指導した。	5人
草 木 染 講 習 会	3月17日	草木染の方法について指導した。	19人
椎茸栽培講習会	3月21日	椎茸の植菌とその後の管理方法について指導した。	32人
洋ラン栽培講習会	3月21日	洋ランの栽培管理について実演指導した。	18人

c 講演会・展示解説

名 称	時 期	内 容	参加者数
日本植物園協会 第53回大会記念 公開シンポジウム	6月21日	「被爆樹木を守り、広める」と題して堀口 力氏、松岡 健太氏、猪丸 雄太氏によるシンポジウムを行った。	81人
変化朝顔展解説	8月26日	変化朝顔展の展示と変化アサガオの育て方について解説した。	10人
薬用植物展示解説	9月16日	薬用植物展に出品している植物について解説を行った。	20人
特別企画展 バオバブ展解説	9月24日	バオバブの生育環境や生態、バオバブの民芸品、現地の状況等について解説を行った。	10人
ガーデニング コンテスト 受賞作品解説	10月28日	ガーデニングコンテストの受賞作品と審査のポイントの解説を行った。	8人
市 民 講 座	11月10日	「植物多様性の保護：世界の植物園の活動」と題して、中越 信和氏による講演を行った。	47人
特別企画展 バオバブ展 講 演 会	11月23日	「巨木バオバブ、その謎と実情」と題して、湯浅 浩史氏による講演を行った。	130人
チョコ講演会	2月 9日	カカオニブ講演会「チョコのサイエンスロマン」と題して講演を行った。	36人

名 称	時 期	内 容	参加者数
「草木染の世界」展 ギャラリートーク	3月17日	「草木染の世界」展の作品などについて解説した。	10人

d コンクール

名 称	時 期	内 容	応募点数等
ラン審査会	4月28日	ランの栽培技能の向上を図るため、ラン展展示協力団体から出品されたランを審査し、優秀作品を表彰した。	25人 137点
	10月27日		20人 104点
	2月22日		52人 333点
ガーデニング コンテスト	9月1日 ～10月9日	コンテナガーデン(花の寄せ植え)とハンギングバスケットを一般公募し、優秀作品を表彰した。	応募 44点 入選 24点
植物写真コンテスト	9月1日 ～11月30日	植物公園の植物や園内風景を題材とした写真を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 325点 入選 65点

e 観察会

名 称	時 期	内 容	応募点数等
季節の花さんぽ	4月10日	サクラやオーストラリアバオバブなどの観察を行った。	41人
	4月28日		41人
	5月8日	ヤマボウシやシナノキなどの観察を行った。	17人
	5月26日		23人
	6月12日	ハナショウブやナツツバキなどの観察を行った。	32人
	6月23日		25人
	7月10日	アオギリやノリウツギなどの観察を行った。	10人
	7月28日		7人
	8月14日	サギソウやキツネノカミソリなどの観察を行った。	10人
	8月25日		17人
	9月11日	オオモクゲンジやヒガンバナなどの観察を行った。	18人
	9月22日		15人
10月9日	マテバシイやワタなどの観察を行った。	26人	
10月27日		24人	
11月13日	スズランノキやサザンカなどの観察を行った。	32人	
11月24日		18人	
12月11日	テーダ松やカエンボクなどの観察を行った。	25人	
12月22日		10人	

名 称	時 期	内 容	参加者数
季節の花さんぽ	1月 8日	カラコエやシナマンサクなどの観察を行った。	24 人
	2月12日 2月23日	カンザクラやセツブンソウなどの観察を行った。	29 人 41 人
	3月12日 3月23日	梅やカンヒザクラなどの観察を行った。	24 人 35 人
うらら池の自然散策	4月29日	うらら池やロックガーデンの野生植物を散策しながら観察した。	28 人
	7月14日		10 人
	8月 4日		9 人
	11月10日		33 人
冬 虫 夏 草 園 内 観 察 会	7月 1日	園内で発生している冬虫夏草類の観察を行った。	38 人
シダ植物観察会	7月22日	園内のシダ植物を散策しながら観察した。	10 人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・ 昆虫館共同事業)	10月13日	自然に関する理解を深めるため、せら夢公園等で動・植物や昆虫を観察した。	24 人
カカオの花見ツアー	12月16日	カカオの花の構造や受粉のしくみ、木の成長について解説した。	40 人
野 鳥 観 察 会	1月14日	園内に飛来する野鳥を観察した。	42 人

f 植物教室その他催し物

名 称	時 期	内 容	参加者数等
ジュニアプロジェクト	4月 8日	ガイドボランティアが園内の植物や自然を通じて、植物や環境について楽しく学べる自然体験プログラムを実施した。	72 人
	5月13日		1 人
	6月10日		38 人
	8月12日		60 人
	10月14日		73 人
	11月11日		65 人
	3月10日		4 人
		合計	313 人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
オリエンテーリング	5月 4日 7月21日 ～ 8月30日 11月 3日	みどりの日、サマーフェア、開園記念日にオリエンテーリングを開催し、参加者に記念品を進呈した。	653人 3,358人 595人
ハナショウブ & アジサイまつり	6月 2日 ～ 6月24日 (土・日開催)	ハナショウブやアジサイの見頃の時期に合わせ、栽培講習会、お茶会、花の解説などを行った。	7,190人
森の幼稚園	6月 3日 10月 7日	幼児と保護者を対象に園内の植物や自然を通じて、楽しく学ぶ機会を提供するとともに、保育者等を対象とした自然体験プログラムの指導を行った。	23組 60人 17組 34人
親子植物体験教室	7月25日	小学校1～3年生とその保護者を対象に、植物の観察などを通じて植物について楽しく学べる教室を実施した。	24組 44人
バオバブ タッチング イベント	8月18日 8月19日 10月20日	大温室のシンボルツリーであるオーストラリアバオバブをタッチできるイベントを期間限定で開催した。	614人 824人 860人

(カ) 学校教育活動の受入れ

名 称	時 期	内 容	件数等
自然体験学習の受入れ	通 年	小・中学校が行う自然体験学習を受け入れるほか、オリエンテーリングの相談に応じ、植物や自然保護などについて指導した。	46件 2,847人
職場体験などの受入れ	通 年	中学校の職場体験や高等学校のインターンシップを受け入れ、指導した。	4件 13人

(カ) 企画展その他展示会の開催

名 称	時 期	内 容
ゼラニウム展	4月 1日 ～ 4月18日 3月 9日 ～ 3月31日	多彩な花色と葉の模様・色が美しいゼラニウムや、豪華なペラルゴニウムなどを展示した。

名 称	時 期	内 容
サクラソウ展	4月14日 ～ 4月19日	花の形や色の変化に富むサクラソウを展示した。
春の洋ラン展	4月28日 ～ 5月 3日	春咲きのランの原種や交配種を展示し、ランの魅力を紹介した。
ハーブ展	5月12日 ～ 5月24日	ハーブとして利用されている植物とその利用方法を紹介した。
ローズ フェスティバル	5月12日 ～ 5月27日	春バラの展示を中心に、バラに関する講習会やガイドツアーを行った。
セントポーリアと イワタバコの仲間展	5月26日 ～ 6月 7日	可憐で人気のあるセントポーリアとその仲間のイワタバコ属を展示した。
アジサイ展	6月 2日 ～ 6月24日	花の色の変化に富むアジサイの原種や園芸品種などを展示した。
夏のカラフル リーフ展	6月20日 ～ 7月16日	斑入り植物や様々な色の葉を持つ植物を展示した。
世界の食虫植物展	7月21日 ～ 8月19日	ハエトリグサやウツボカズラなど、子どもたちに人気のある世界の食虫植物を展示した。
変化朝顔展	8月25日 ～ 9月 2日	花や葉が変化した珍しいアサガオを展示した。
薬用植物展	9月 8日 ～ 9月27日	ウコンやキキョウなどの薬用植物を展示した。
特別企画展 バオバブ展	9月22日 ～12月25日	大温室にシンボルツリーとして植栽・展示した日本最大のオーストラリアバオバブのほか、世界各国のバオバブについて紹介した。
秋の洋ラン展	10月27日 ～11月 4日	カトレヤやパフィオペディルムなど洋ランの園芸品種と珍しい原種を展示した。
キク展	10月27日 ～11月11日	日本と中国の交流の証である中国の菊花と日本の園芸菊などを展示した。
クリスマス を飾るフラワー展	11月24日 ～12月25日	シクラメンやポインセチア、カランコエなど、クリスマスでよく使われる植物や飾りを展示した。
冬の鉢花展	1月12日 ～ 2月11日	カランコエを主体にシクラメンなどの冬の鉢花を展示し、品種や栽培方法などをパネルで解説した。
カカオとチョコの 秘 密 展	2月 9日 ～ 2月24日	チョコレートの歴史と作り方、カカオの秘密をパネルで紹介した。
世界の蘭と熱帯 の花フェスタ	2月23日 ～ 3月 3日	洋ランと熱帯に咲く花々を大温室を中心に展示し、花の魅力について紹介した。

(キ) 広報普及

名 称	時 期	内 容	件 数 等
マスコミ広報	通 年	テレビ局、ラジオ局、新聞社、出版社などを通じて、植物の見頃の時期や催し物などについては毎月、珍しい植物の開花状況などについては随時、広報した。	テレビ 36 件 ラジオ 11 件 新聞 13 件 情報誌等 188 件 計 248 件
催し物案内ポスター・PR用チラシの配布	通 年	催し物案内ポスターやPR用チラシを作製し、公共施設などに配布した。	ポスター 635 か所 チラシ 1,948 か所
植物写真パネルなどの貸出し	通 年	植物や園内風景などを撮影した写真パネル・画像データを公共施設や事業所などに貸し出し、植物公園のPRを図った。	4 か所 69 点
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより、施設の紹介、催し物、開花状況などの最新情報を提供した。	アクセス件数 125,922 件
メールマガジンの配信	通 年	催し物、開花状況などを、登録した読者のパソコンや携帯電話に配信した。	メールマガジン登録 703 人 ミニまぐ登録 58 人
デジタルサイネージによる情報発信	通 年	シャレオ中央広場などに設置されたディスプレイを利用してイベントのPRを行った。	11 回
有料の広告媒体による広報	通 年	西広島タイムスに広告を行い、植物公園のPRを行った。	1 か所
マツダスタジアムにおけるPR活動	5月30日	マツダスタジアム内で開催された安佐動物公園のASA ZOO-ZOO広場において、食虫植物の解説などを行い、植物公園のPRを行った。	1 回

(ク) 出版物の発行

名 称	内 容	発行部数
「栽培記録」	栽培記録を発行、配布して、国内外の植物園、大学、各関係機関との交流を深め、植物公園事業の発展を図るとともに、植物に関する知識の普及及び植物公園事業の周知を図った。	300 部

(ケ) 植物に関する相談

名 称	時 期	内 容	件 数
植物園芸相談	通 年	植物の栽培方法など植物に関する相談等を受けて助言、指導した。	1,593 件

④ 昆虫館の管理運営〔公2事業〕

広島市から指定（期間：平成30年4月1日～令和4年3月31日）を受けた昆虫館における昆虫の飼育・展示、収集及び飼育管理、入館料の收受、施設の管理維持などを行い、入館者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

平成30年7月6日の豪雨により森林公園内各所に大規模な土砂崩れが発生したため、災害発生の翌日の7月7日から臨時休館せざるを得ない状況（一部再開は令和元年5月中旬の予定）となった。市民の安全確保を第一に踏まえ、豪雨災害により園内各所で土砂災害が発生した情報をホームページ等で迅速確実に市民の方へ提供できるよう努めた。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育、学校教育活動への協力、催し物の開催など各種事業を広島市植物公園、安佐動物公園、こども文化科学館、その他公民館等、園外施設に出向いて実施し、昆虫に関する知識及び昆虫愛護思想の普及、かん養並びに昆虫愛好者の育成を図った。

ア 昆虫の飼育・展示など

(ア) 昆虫の飼育・展示（臨時休館以前の7月6日まで）

〔展示場所〕 主な展示昆虫		内 容
〔パピヨンドーム〕	チョウ類	亜熱帯の花が咲き乱れるジャングルを再現した温室に、オオゴマダラ、リュウキュウアサギマダラ、ツマベニチョウ、クロテンシロチョウなど10種500頭以上の沖縄産チョウ類を放蝶し、吸蜜、飛翔、求愛、交尾、産卵などチョウの様々な行動を目の当たりに観察できる展示を行った。
	イトトンボ類	ベニイトトンボ、キイトトンボなどのイトトンボ類を約100頭を放し、展示を行った。
	ホウジャク類 ハナアブ類	ヒラタアブなどのハナアブ類約100頭を放し、展示した。ホウジャク類は7月以降に採集し、展示する予定だったが臨時休館となったため行わなかった。

〔展示場所〕 主な展示昆虫		内 容	
〔昆虫ランド〕	外国産昆虫	ヘラクレスオオカブトムシ、ハナカマキリ、ユウレイヒレアシナナフシ、オオコノハムシなど、子どもに人気のある外国産昆虫を展示した。	
	陸生昆虫	夜行性昆虫	オオクワガタ、カブトムシ、カマドウマ、タイワンクツワムシ、サツマゴキブリ、マイマイカブリなど夜に活動する昆虫を照明により昼夜を反転させて展示した。
		昼行性昆虫	リュウキュウツヤハナムグリ、ツダナナフシ、オキナワモリバッタなど昼に活動する昆虫を展示した。
		季節の昆虫	セグロアシナガバチ、スジグロシロチョウなど広島県に分布し、季節の移り変わりを感じさせる昆虫を展示した。
	水生昆虫	ゲンゴロウ、タガメ、ミズカマキリなどの水生昆虫をそれぞれの生息環境にすむその他の水生生物（オタマジャクシ、魚類、甲殻類）とともに展示した。ゲンゴロウ類については一日一回の餌やりショーも実施した。	
	職員おすすめ！旬の昆虫	ヨモギハムシ、ミイデラゴミムシなど飼育技術が確立していない昆虫や、出現期が非常に短いため長期の展示には向かない昆虫など、形や生態に話題性がある昆虫をスポット的に展示した。	
	昆虫以外の陸生節足動物	同じ節足動物に属し、昆虫と間違えやすいオオヤスデ、サソリ、タランチュラなど、昆虫以外の陸生節足動物を展示した。	
	なつかしい身近な生き物	40代以上の方が子どもたちの遊びのなかで出会っていたニホンアカガエル、アメリカザリガニ、ダンゴムシ、ワラジムシなどの昆虫以外の小動物を展示した。	

※臨時休館以降は、いつでも再開できるよう安定した累代飼育の維持に努めた。

【昆虫の飼育頭数】

(平成31年3月31日現在)

区 分	種 類	頭 数
チョウ類など(パピヨンドーム)	13種	428頭
外国産昆虫	72種	373頭
夜行性昆虫	24種	11群158頭
昼行性昆虫	17種	166頭
水生昆虫	11種	23頭
昆虫以外の陸生節足動物	21種	1,021頭
なつかしい身近な生き物	3種	5頭
合 計	161種	11群2,174頭

※臨時休館以降は、季節の昆虫、旬の昆虫の飼育展示は行っていない。

(イ) 昆虫の収集及び飼育管理

名 称	内 容
展示昆虫の維持及び種の保存	計画的な採集や交換などにより、累代飼育を適正に行い、展示昆虫を維持するとともに、保護が必要な昆虫を飼育し、種の保存に取り組んだ。
近交弱勢防止のためのチョウその他の昆虫の採集	累代飼育の結果生じる近交弱勢を防止するため、年に数回、広島県や沖縄県などでチョウその他の昆虫を採集した。
昆虫の交換	近交弱勢などの防止及び展示種の充実のため、他の昆虫展示施設と昆虫を交換した。 譲受け：カバタテハなど5種 譲渡し：ハナカマキリなど5種
チョウその他の昆虫の累代飼育	他の動物に比べ比較的寿命の短い昆虫を周年展示するために、チョウ類25種、その他の昆虫等約180種を累代飼育した。
新しい展示分野開拓のための調査	新しい展示分野を開拓するため、広島県内のほか、沖縄県などで、アカタテハ、シロウラナミシジミなどのチョウ類、アシマダラミズカマキリなどの水生昆虫、オオハヤシウマ、ヤエヤママダラゴキブリ、オオシロアリなどを採集した。
外国産昆虫の導入と飼育	モーレンキャンプオオカブトムシなど外国産昆虫及び昆虫以外の節足動物類を導入し、累代飼育の確立に努めた。
「簡易繁殖場」におけるカブトムシの繁殖	昆虫好物樹木園等で2か所に設けている簡易繁殖場で、市民から譲り受けたカブトムシの幼虫約200頭を入れて繁殖飼育を行った。
昆虫の飼育管理	成育状態を良好に保つため、温度・湿度の管理のほか、チョウその他の昆虫の飼育及び展示に不可欠な蜜源植物及び食草を周年栽培・維持管理し、飼育環境の向上を図った。

(ウ) 入館料の収受 (利用料金制)

【入館状況】

区 分				入館者数	使用料		
有 料 入 館 者	個人	大人	歳以上65歳未満	510円	5,504人	2,807,040円	
			65歳以上	170円	569人	96,730円	
		小人	18歳未満 (小・中学生を除く)	170円	30人	5,100円	
	年間 パス ポート	購入	大人	18歳以上65歳未満	1,540円	393人	605,220円
				65歳以上	510円	28人	14,280円
			小人	18歳未満 (小・中学生を除く)	510円	0人	—円
		提示	大人	18歳以上65歳未満	—	1,856人	—円
				65歳以上	—	128人	—円
			小人	18歳未満 (小・中学生を除く)	—	0人	—円
	団 体	大人	18歳以上65歳未満	430円	308人	132,440円	
			65歳以上	130円	0人	0円	
		小人	18歳未満 (小・中学生を除く)	130円	141人	18,330円	
	優 待 割 引	大人	18歳以上65歳未満	430円	6人	2,580円	
			65歳以上	130円	0人	0円	
		小人	18歳未満 (小・中学生を除く)	130円	0人	0円	
小 計				8,963人	3,681,720円		
減免等入園者(小・中学生、社会福祉施設、その他)				14,529人	0円		
合 計				23,492人	3,681,720円		

(エ) 利用促進

名 称	時 期	内 容	販売枚数等
年間パスポートの販売 (動物園・植物園・ 昆虫館共同事業)	4月 1日 ～ 7月 6日	より多くの方に昆虫館の魅力に触れる機会を提供 するため、動物園・植物園と共通して利用できる 年間パスポートを販売し、利用者に対するサービ スの向上及びリピーターの確保を図った。	422枚
休館日の開館	5月 2日	ゴールデンウィーク中の休館日を開館し、利用者 に対するサービスの向上及び入館者の増加を図っ た。	446人

(オ) 施設の維持管理・館内サービス

名 称	時 期	内 容
施設の維持管理	通 年	入館者に安全・快適な観覧環境を提供するため、館内の清 掃・警備を行った。また、建物や機械・電気などの設備を良 好な状態で使用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	4月 1日 ～ 7月 6日	入館者が快適に観覧できるよう、標識、リーフレット、館内 放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	4月 1日 ～ 7月 6日	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理な どを行った。
展示解説の充実	通 年	昆虫の魅力や希少昆虫の現状を伝えるための展示解説板、写 真、資料等を追加など、刷新した。また、パピヨンドームで は、植物の名前が分かるラベルの設置や、チョウの名前が調 べられる観察ノートを設置を行った。

イ 生物多様性の保全

(ア) 他団体との連携

名 称	時 期	内 容	件 数
保 護 活 動 に 関 する 情 報 交 換	通 年	広島県生物多様性の保存希少生物分科 会・ミヤジマトンボ保護管理連絡協議 会、ヒョウモンモドキ保全地域協議会 へ参加し、環境省、広島県、三原市、 廿日市市と連携してミヤジマトンボ、 ヒョウモンモドキの調査や生息地の環 境保全活動を行った。	11件 《内訳》 ミヤジマトンボ 6件 ヒョウモンモドキ 5件

(イ) 生息域内保全

名 称	時 期	内 容	件 数
生息地における絶滅危惧昆虫の保全	通 年	生息地域の住民との協働により、ギフチョウ、アカトンボ類、ゲンゴロウ、などの保全活動を行った。	4件 《内訳》 安佐北区玖谷 2件 東広島市志和 1件 北広島町 1件

(ウ) 生息域外保全

名 称	時 期	内 容	件 数
生息地以外における絶滅危惧昆虫の保全	8~3月	広島県から委託を受け、「特定野生生物種ミヤジマトンボ」の採卵、孵化、人工飼育、放流を実施するなど、日本の絶滅危惧昆虫を保全に取り組んだ。	4件 《内訳》 調査・採卵 8月 環境整備 11月, 3月 幼虫調査 1月 放流 11月15日 (580個体)

(エ) 昆虫に関する調査・研究

名 称	時 期	内 容
昆虫に関する調査・研究	通 年	広島県、沖縄県などで、昆虫の種類や数の調査、採集を行い、ヒョウモンモドキなどの希少昆虫や分布上貴重な昆虫の生息状況を記録した。また、採集した昆虫を飼育して累代飼育の確立のための研究を行うとともに、採集した昆虫の一部を標本資料として保管した。
各種資料の収集	通 年	昆虫に関する書籍・雑誌・資料を収集し、累代飼育などの調査・研究に役立てた。
研究活動発表会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	2月13日	昆虫館の活動や研究成果等を市民に発表する場を設け、7月に発生した豪雨災害の様子や、その後の臨時閉館中に他施設で実施したイベントや館内整備の実施等について発表した。 (参加者 29人)

ウ 教育・普及

(ア) 社会教育への協力

名 称	時 期	内 容	件数等
講習会・観察会への講師の派遣	通 年	公民館、図書館、その他の公共施設などが実施する昆虫及び自然環境に関する講習会・自然観察会に職員を講師として派遣した。	35件 28,661人
大学との連携	通 年	昆虫をテーマとした講師の派遣、情報交換などを行った。	2件 46人
子ども読書まつり「みどりいっぱい」への協力	4月23日 ～ 5月12日	図書館、植物公園、昆虫館を巡るスタンプラリーを開催し、全施設を巡った参加者に昆虫館オリジナル缶バッジを提供した。	50人
	5月6日	昆虫館がくしゅう室で、こども図書館職員による本の読み聞かせを行った。移動図書館「ともはと号」に来館してもらい、昆虫館玄関前広場で本の閲覧会を行った。	86人

(イ) 学校教育への協力

名 称	時 期	内 容	件数等
出張自然体験活動	通 年	命の大切さを伝えるため、保育園・幼稚園、小学校に職員を派遣し、昆虫とのふれあい体験を行った。	398件 10,795人
総合的な学習時間の支援	通 年	小・中学校に職員を派遣し、昆虫及び自然環境をテーマとした総合学習の指導を行った。	4件 187人
教材生物バザールへの参加	5月16日	県立教育センターの要請に基づいて職員を派遣し、教材として昆虫に関する試料を提供した。	130人

(ウ) 市民・団体との協働

名 称	時 期	内 容	参加者数等
昆虫館ボランティア	通 年	昆虫館ボランティアを育成して、館内でのイベントや自然観察会の補助、広島県内の希少昆虫の保護活動や調査等を行った。 ボランティア総数：35人	活動回数 11回 活動延べ人数 102人

(エ) 昆虫館友の会の活動

会員数 (16組53人)

名 称	時 期	内 容	参加人数等
講 習 会 野 外 観 察 会	5月13日	チョウの飛翔や産卵の観察・解説をした後、身近なチョウの食草や上手な飼いかたについて説明した。 場所：昆虫館がくしゅう室・パピヨンドーム	25人
	6月 3日	初夏の昆虫の観察を行った。 場所：広島市民の里@安佐	38人
	7月 1日	外国産カブトムシ・クワガタムシの飼育とモラルについて実習・解説を行った。 場所：昆虫館がくしゅう室	31人
	9月17日	秋の昆虫の観察を行った。 場所：広島市植物公園	26人
	11月 4日	さまざまなドングリの採集と観察を行った。 場所：広島市植物公園	22人
	12月16日	カブトムシやクワガタムシの標本の作りかた教室を実施した。 場所：広島県緑化センター	25人
	3月 3日	カブトムシの幼虫を配布し、次世代幼虫を昆虫館に返却することを目標として、飼いかたを解説した。 場所：広島県緑化センター	27人
こ ん ち ゅ う 館 N e w s の 配 布	4月	昆虫館で発行した「こんちゅう館ニュース」を配布した。	16冊

(オ) 講演会その他催し物の開催

a コンクール

名 称	時 期	内 容	参加者数等
む し む し 写 真 コ ン テ ス ト	応募期間 5月 1日 ～ 9月30日 優秀作品公開 2月 9日～	昆虫を題材とした写真コンテストを実施し、優秀作品を表彰した。 豪雨災害により臨時休館となったため、優秀作品はWeb上で公開した。	応募者数 95人 応募点数 327点 入賞点数 28点

b 観察会

名 称	時 期	内 容	参加者数等
家族みんなで 虫さがし	5月20日	テントウムシ、アゲハチョウ幼虫など、春の昆虫を観察し、名前調べを行った。	71人
	6月10日	クロスジギンヤンマ、バッタ類の幼虫など、初夏の昆虫を観察し、名前調べを行った。	96人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・ 昆虫館共同事業)	10月13日	自然に関する理解を深めるため、世羅町で動・植物や昆虫を観察した。	24人

c 昆虫教室その他催し物

名 称	時 期	内 容	参加者数等	
春の虫祭「こんちゅう館で遊ぼうday」	うそみつけ	4月 1日	昆虫館内を巡りながら、展示中の「うそ」を探すクイズラリーを実施した。参加者には景品を進呈した。	402人
	むしりとり	4月 7日 4月 8日	昆虫館内に展示してある虫の名前をつなげてしりとりを完成させるゲームを実施した。参加者には景品を進呈した。	413人
	ムシルエット クイズ	4月14日 4月15日	昆虫館内に展示してある昆虫の影のイラストから昆虫の名前を当てるクイズを実施した。参加者には景品を進呈した。	325人
	缶バッジ作り	4月15日	昆虫のイラストにぬり絵をしてオリジナルの缶バッジを作るイベントを実施した。	92人
むしむしおりがみ教室	4月 1日 4月 8日 4月15日 4月22日	昆虫を題材にしたおりがみ工作教室を実施した。	483人 144人 149人 281人 合計 1,057人	
虫博士になるろう！	チョウの翅のひみつ	4月 8日	チョウの翅のつくりや役目などを実験等を通じて解説した。	18人
	むしの赤ちゃん	4月22日	昆虫の成長、完全変態、不完全変態についての解説と、さまざまな生きた幼虫とのふれあいを実施した。	45人
	ヒョウモンモドキを救う	5月26日	広島だけに生息する希少昆虫「ヒョウモンモドキ」の現状と保護活動についての講演会を開催した。	12人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
虫 タ ッ チ !!	4月 7日	幼児や児童とその保護者を対象に、年齢に合わせていろいろな昆虫に触れ合える体験イベントを開催した。	85人
	4月14日		26人
	4月21日		141人
	5月12日		120人
	5月19日		119人
	6月 2日		493人
	6月 9日		243人
	6月16日		363人
	6月23日		168人
	6月30日		85人
		合計	1,843人
共 催 事 業 虫 タ ッ チ !!	8月 9日	豪雨災害により臨時休館となったため、被災地、こども文化科学館、安佐動物公園、公民館等へ出向いて様々な昆虫とふれあえるイベントを開催した。	240人
	9月 8日		150人
	9月29日		380人
	9月30日		200人
	10月21日		668人
	11月 3日		300人
	11月25日		1,200人
	12月 8日		350人
	12月15日		400人
	12月22日		318人
	1月14日		1,056人
	1月19日		225人
	2月 2日		301人
	2月 9日		279人
	2月10日		670人
	2月11日		489人
	2月17日		585人
3月10日	200人		
3月17日	368人		
3月23日	170人		
		合計	8,549人
秋の鳴く虫音楽会	10月 7日	豪雨災害により臨時休館となったため、こども文化科学館で共催事業として実施した。秋に係る曲を演奏する音楽会を開催した。	208人
カブトムシの里親	3月24日	豪雨災害により臨時休館となったため、県緑化センターで実施した。カブトムシの幼虫の飼育方法を解説するとともに、参加者に幼虫を配布した。今後令和元年9月まで定期的に参加者と連絡を取り合い、幼虫の様子を確認するとともに、飼いかたについての質問に回答する。	32組104人

(カ) 学校教育活動の受入れ

名 称	時 期	内 容	件数等
自然体験学習の受入れ	4月27日 ～ 7月 3日	昆虫の観察やふれあい体験を目的として、幼稚園・保育園の幼児や小・中学校の児童・生徒を受け入れた。	27件 1,131人
職場体験の受入れ	5月18日 6月15日	中学校の職場体験をに協力し、昆虫館の職場体験を希望する生徒を受け入れた。	2件 4人

(キ) 企画展その他展示会の開催

名 称	時 期	内 容
むしの赤ちゃんPart II 育つ！メタモル？	4月21日 ～ 5月 6日	平成28年度に開催したPart Iとは異なる昆虫をテーマとし、完全変態の甲虫類やハチ類等や不完全変態のバッタ、ナナフシ、カマキリ類等の幼虫を取り上げ、成長に伴って形が変わっていく昆虫の不思議さや面白さを生体、標本等を用いて紹介した。
むしむしおえかき展	5月 1日 ～ 7月 6日	保育園・幼稚園の園児が描いた虫の絵を展示した。
南の島のホタル	6月 9日 ～ 6月24日	発光する沖縄産陸生ホタルの幼虫を照明を落とした会場で展示し、南の島の静かな夜の雰囲気を感じることができる癒しの空間を提供した。また、会期中に昆虫館職員が解説を行う観賞会も実施した。
世界のカブト・クワガタ i n 植物公園	7月29日 ～ 9月 2日	豪雨災害により臨時休館となったため、植物公園で共催事業として実施した。世界の生きたカブトムシ・クワガタムシを展示するとともに、ふれあい体験や記念撮影、カブト・クワガタバトルなどのイベントを実施した。
秋の鳴く虫 in 5-days こども文化科学館	9月30日 ～10月 7日	豪雨災害により臨時休館となったため、こども文化科学館で共催事業として開催した。照明を落とした会場で、美しい声で鳴く生きた秋の虫を展示した。また、10月7日には、こども文化科学館アポロホールでサクスカルテットによる秋をテーマにした演奏会を開催した。
むしむし写真コンテスト 入賞作品展	2月 9日 ～ 3月31日	豪雨災害により臨時休館となったため、Web上で「むしむし写真コンテスト」の入賞作品を公開した。

(ク) 広報普及

名 称	時 期	内 容	件数等
マスコミ広報	通 年	テレビ局、ラジオ局、新聞社、出版社、市広報紙課などを通じて、昆虫館の展示や催し物などの広報を行った。	新聞 1件 テレビ 3件 ラジオ 5件 雑誌 1件 市民と市政 3件 計 13件
保育園、幼稚園、小学校、その他の教育施設への学習利用の促進	通 年	保育園、幼稚園、小学校を訪問して、昆虫館で実施している社会教育活動を紹介した。	80件
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより、施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を提供した。	アクセス数 45,735件
フェイスブックによる広報	通 年	フェイスブックにより、施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの情報を提供した。	更新回数 47件
ツイッターによる広報	通 年	ツイッターにより、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの情報を提供した。	更新回数 121件
デジタルサイネージによる情報発信	通 年	人通りの多い市内4か所に設置されたデジタルサイネージに施設の紹介、催し物、情報を提供した。	4件
年間パスポート購入者へのイベント情報の配信	通 年	年間共通パスポート購入者の携帯電話やパソコンに、催し物情報を配信した。	1回
オリジナルグッズの配布	通 年	各イベントに合わせ、昆虫シールや缶バッジなど昆虫館オリジナルグッズを配布し、昆虫館をPRした。	昆虫シール 1,000枚 缶バッジ 500個
有料の広告媒体による広報	通 年	森林公園と共同で、イベントチラシの新聞折込を行った。	1回
催し物案内ポスター・PR用チラシの配布	4~9月	催し物案内ポスターやPR用チラシを作製し、公共施設などに配布した。	ポスター 1,000か所×1回 チラシ(写真コンテスト) 200か所×1回 チラシ(新聞折込) 118,000軒×1回
マツダスタジアムにおけるPR活動	5月23日	マツダスタジアム内で開催された安佐動物公園のASA ZOO-ZOO広場において、昆虫ふれあい体験及びグッズの販売を行い、昆虫館のPRを行った。	1回

(ケ) 出版物の配布

名 称	内 容	配布部数
「標本の作り方」 「飼ってみよう」	身近な昆虫の飼い方や標本の作り方を分かりやすく解説したリーフレットを配布し、昆虫に関する知識の普及や昆虫館事業の周知を図った。	300部 200部
「こんちゅう館News」	展示昆虫、季節の昆虫や飼育の裏話など昆虫に関する話題をわかりやすく紹介する冊子(A5版、8ページ程度)を発行、配布した。	年4回 200部

(コ) 昆虫に関する相談

名 称	時 期	内 容	件数
昆 虫 相 談	通 年	昆虫の飼育方法や生態など昆虫に関する相談等を受けて助言指導した。	545件

(2) 収益事業等

① 売店の運営など〔収1事業〕

ア 安佐動物公園等における売店の運営など

指定管理者として指定された次の施設の利用者の利便を図るため、売店、食堂などの経営を行った。

営業場所	内 容
安 佐 動 物 公 園	売店(2か所)における土産物などの販売 食堂(1か所)における飲食物の販売 喫茶(1か所)における飲食物の販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 ベビーカーの賃貸 コインロッカーの賃貸 電動スクーターの賃貸
植 物 公 園	売店(1か所)における土産物などの販売 売店(1か所)における植物などの販売 食堂(1か所)における飲食物の販売 喫茶(1か所)における飲食物の販売 臨時売店(3か所)における植物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 コインロッカーの賃貸 電動スクーターの賃貸 観光望遠鏡の賃貸
昆 虫 館	売店(1か所)における土産物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 コインロッカーの賃貸
中央公園(ファミリープール)	食堂(1か所)における飲食物の販売 売店(1か所)における飲食物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 浮輪の賃貸
中央公園(定期観光バス等駐車場) 大芝公園 交通ランド	自動販売機による清涼飲料水などの販売

イ 公益目的事業への繰入れ

緑のまちづくり事業、動物公園事業、植物公園事業、昆虫館事業等の推進を図るため、売店の運営等で得た収益を公益目的事業に繰り入れた。

② 公園及び公園施設の管理運営〔他1事業〕

広島市から指定（期間：平成30年4月1日～令和4年3月31日）を受けたファミリープールの入園料などの収受及び管理運営、中央公園の維持管理、交通ランド（大芝公園）のゴーカート使用料の収納事務及び維持管理並びに安佐動物公園、植物公園の駐車料の収受及び駐車場の管理運営を行い、入園者及び利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、中央公園では、樹木及び被爆施設を活用して、樹木に関する知識の普及や平和について学ぶ機会を提供し、ファミリープールでは、幼児や児童、青少年の心身の健全な発達を図るため、水泳教室を開催した。

ア 中央公園（ファミリープールを含む）及び交通ランドの管理運営

(ア) 入園料などの収受及びゴーカート使用料の収納事務

a ファミリープール（利用料金制）

【入園状況】

区 分					入園者数	使用料
有料 入園者	個人	大人	18歳以上65歳未満	780円	41,409人	32,299,020円
		大人	65歳以上	340円	1,472人	500,480円
		小人	小・中・高校生及び18歳未満	340円	44,759人	15,218,060円
	団体	大人	18歳以上65歳未満	640円	31人	19,840円
		大人	65歳以上	270円	0人	0円
		小人	小・中・高校生及び18歳未満	270円	255人	68,850円
	小 計					87,926人
減免等入園者（障害者、その他）					29,727人	0円
合 計					117,653人	48,106,250円

【コインロッカー利用状況】

区 分	利用回数	使用料
ロッカー利用（100円）	42,413回	4,241,300円

b 交通ランド

【利用状況】

区 分		利用台数	使用料	
ゴーカート	個人	1人乗り(1台1回100円)	20,067台	2,006,700円
		2人乗り(1台1回150円)	33,437台	5,015,550円
	団体	1人乗り(1台1回80円)	104台	8,320円
		2人乗り(1台1回120円)	16台	1,920円
	減免利用者 (高齢者、その他)	1人乗り(—)	1,209台	0円
		2人乗り(—)	7,735台	0円
合 計		62,568台	7,032,490円	

(イ) 利用促進

名 称	時 期	内 容	参加者数等
交通ランドゴーカート 運休日の運行	5月1日	ゴールデンウィーク期間中のゴーカート運休日に運行し、利用者に対するサービスの向上を図った。	利用台数 136台
ファミリープール 前売券の発行	6月1日 ～ 6月29日	入園券に園内の売店・食堂で使える割引券をセットにした前売券を発行・販売し、新たな顧客の獲得に努めた。	販売枚数 2,497枚 利用枚数 1,544枚
ファミリープール ポイントカードの発行	7月1日 ～ 9月2日	所定の利用回数に達した場合、次回の入園料を免除するポイントカードを発行し、リピーターの確保を図った。	配布枚数 32,900枚 達成枚数 1,021枚
ファミリープール イベント開催	7月25日 8月1日 8月8日	ゲーム大会を開催し、利用者に対するサービスの向上を図った。	1日3回 9回
ファミリープール 休園日の開園	8月6日	開園期間中の休園日を開園し、利用者に対するサービスの向上及び入園者の増加を図った。	入園者数 1,997人
ファミリープール 開園期間の延長	9月1日 9月2日	開園期間を2日間延長し、利用者に対するサービスの向上及び入園者の増加を図った。	入園者数 2,140人

(ウ) 施設の維持管理・園内サービス

名 称	時 期	内 容
施設の維持管理	通 年	利用者に安全・快適な利用環境を提供するため、園内の清掃・警備などを行った。また、プール管理棟などの建物、機械・電気などの設備やゴーカートを良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	利用者が快適に施設を利用できるよう、標識、リーフレットや園内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
ファミリープール 涼感サービスの提供	7月 1日 ～ 9月 2日	暑さ対策として、入園ゲート前と園内にミストファンを置き、入園者が涼しさを感じられるサービスを提供した。

イ 安佐動物公園及び植物公園の駐車場の管理運営

(ア) 駐車料の収受（利用料金制）

a 安佐動物公園

【利用状況】

区 分	台 数	使 用 料
中・大型自動車（1,380円）	1,370台	1,890,600円
普通自動車（450円）	102,919台	46,313,550円
減 免 利 用	1,491台	0円
合 計	105,780台	48,204,150円

b 植物公園

【利用状況】

区 分	台 数	使 用 料
中・大型自動車（1,380円）	254台	350,520円
普通自動車（450円）	49,494台	22,272,300円
減 免 利 用	1,913台	0円
合 計	51,661台	22,622,820円

(イ) 施設の維持管理

名 称	時 期	内 容
施設の維持管理	通 年	利用者に安心・安全な利用環境を提供するため、駐車場内及び進入路における交通誘導や警備などを行った。また、立体駐車場などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。

ウ 中央公園（ファミリープールを含む）における教育・普及

(ア) 水泳教室その他催し物の開催

名 称	時 期	内 容	参加者数等
ファミリープール 体験水泳教室	7月23日 8月 3日 8月20日 8月27日	親子を対象に、泳ぎ方を指導し、習得する場を提供した。また、救助する方法、救助される方法について実技を行った。	76組 170人
中 央 公 園 樹名板づくり教室	1月27日	中央公園樹木の樹名板の作製や設置を行う子どもを募り、作業を通じて樹木について楽しく学ぶ場を提供した。また、この手作りの樹名板により公園利用者の関心を引き、樹木への理解や知識を深めた。	55人

(イ) 広報普及

名 称	時 期	内 容	件 数 等
ホームページ広報	通 年	ホームページにより、施設の紹介や催し物などの情報を提供した。	アクセス件数 176,154件
マスコミ広報	通 年	テレビ局・新聞社・出版社などを通じて、催し物などの広報を行った。	テレビ 9件 新聞 1件 情報誌等 9件 計 19件
PR用チラシの配布	5月22日 ～ 9月 2日	小学校、公民館や公共施設などでファミリープールPR用チラシを配布し広報した。	チラシ 705か所

- 7 事業報告の附属明細書
記載すべき事項はありません。

決算報告書

第2 決算報告書

平成30年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会決算報告書
(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

1 貸借対照表

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	275,418,362	299,299,047	△ 23,880,685
未収金	1,516,079	2,596,328	△ 1,080,249
商品	7,980,903	7,337,974	642,929
流動資産合計	284,915,344	309,233,349	△ 24,318,005
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	112,000,000	112,000,000	0
基本財産合計	112,000,000	112,000,000	0
(2) 特定資産			
緑化基金積立資産	413,634,328	413,634,328	0
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000	3,000,000	0
退職給付引当資産	31,457,315	30,824,736	632,579
減価償却引当資産	25,563,455	24,092,901	1,470,554
備品等購入資金積立資産	1,452,606	1,452,606	0
みどり生きものサポーター募金積立資産	1,401,119	1,863,645	△ 462,526
特定資産合計	476,508,823	474,868,216	1,640,607
(3) その他固定資産			
建物	1,490,000	1,490,000	0
建物減価償却累計額	△ 1,489,998	△ 1,489,998	0
構築物	2,764,650	2,764,650	0
構築物減価償却累計額	△ 1,413,035	△ 1,228,726	△ 184,309
車両運搬具	6,683,207	6,683,207	0
車両運搬具減価償却累計額	△ 6,635,882	△ 6,351,998	△ 283,884
器具備品	24,543,756	21,551,476	2,992,280
器具備品減価償却累計額	△ 19,318,863	△ 18,209,767	△ 1,109,096
電話加入権	74,984	74,984	0
投資有価証券	166,498	140,056	26,442
その他固定資産合計	6,865,317	5,423,884	1,441,433
固定資産合計	595,374,140	592,292,100	3,082,040
資産合計	880,289,484	901,525,449	△ 21,235,965

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	75,553,660	98,149,039	△ 22,595,379
未払消費税等	14,726,600	15,753,800	△ 1,027,200
未払法人税等	4,773,900	1,810,500	2,963,400
前受金	229,000	527,000	△ 298,000
買掛金	5,241,823	7,904,027	△ 2,662,204
預り金	6,791,002	11,342,549	△ 4,551,547
賞与引当金	33,242,034	31,519,560	1,722,474
流動負債合計	140,558,019	167,006,475	△ 26,448,456
2. 固定負債			
退職給付引当金	456,912,421	461,206,065	△ 4,293,644
長期預り金	1,661,560	1,661,560	0
固定負債合計	458,573,981	462,867,625	△ 4,293,644
負債合計	599,132,000	629,874,100	△ 30,742,100
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
広島市出資金	503,600,000	503,600,000	0
寄付金	1,401,119	1,863,645	△ 462,526
指定正味財産合計	505,001,119	505,463,645	△ 462,526
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(405,001,119)	(405,463,645)	(△ 462,526)
2. 一般正味財産	△ 223,843,635	△ 233,812,296	9,968,661
(うち基本財産への充当額)	(12,000,000)	(12,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(40,050,389)	(38,579,835)	(1,470,554)
正味財産合計	281,157,484	271,651,349	9,506,135
負債及び正味財産合計	880,289,484	901,525,449	△ 21,235,965

貸借対照表内訳表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	107,312,301	139,084,014	29,022,047		275,418,362
未収金	268,774	1,247,305			1,516,079
未収消費税等	917,530	104,946	1,122,211	△ 2,144,687	0
商品		7,980,903			7,980,903
他会計短期貸付金		10,000,000		△ 10,000,000	0
流動資産合計	108,498,605	158,417,168	30,144,258	△ 12,144,687	284,915,344
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
投資有価証券	112,000,000				112,000,000
基本財産合計	112,000,000				112,000,000
(2) 特定資産					
緑化基金積立資産	413,634,328				413,634,328
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000				3,000,000
退職給付引当資産		31,457,315			31,457,315
減価償却引当資産	1,655,990	23,907,465			25,563,455
備品等購入資金積立資産		1,452,606			1,452,606
みどり生きものサポーター募金積立資産	1,401,119				1,401,119
特定資産合計	419,691,437	56,817,386			476,508,823
(3) その他固定資産					
建物		1,490,000			1,490,000
建物減価償却累計額		△ 1,489,998			△ 1,489,998
構築物		2,764,650			2,764,650
構築物減価償却累計額		△ 1,413,035			△ 1,413,035
車両運搬具	1,703,310	4,979,897			6,683,207
車両運搬具減価償却累計額	△ 1,655,990	△ 4,979,892			△ 6,635,882
器具備品	4,456,120	20,087,636			24,543,756
器具備品減価償却累計額	△ 3,294,323	△ 16,024,540			△ 19,318,863
電話加入権		74,984			74,984
投資有価証券	166,498				166,498
その他固定資産合計	1,375,615	5,489,702			6,865,317
固定資産合計	533,067,052	62,307,088			595,374,140
資産合計	641,565,657	220,724,256	30,144,258	△ 12,144,687	880,289,484
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	37,148,553	14,682,371	23,722,736		75,553,660
未払消費税等	12,155,088	4,716,199		△ 2,144,687	14,726,600
未払法人税等		4,773,900			4,773,900
前受金	229,000				229,000
買掛金		5,241,823			5,241,823
預り金	510,857	198,853	6,081,292		6,791,002
他会計短期借入金	10,000,000			△ 10,000,000	0
賞与引当金	27,508,537	3,101,598	2,631,899		33,242,034
流動負債合計	87,552,035	32,714,744	32,435,927	△ 12,144,687	140,558,019
2. 固定負債					
退職給付引当金	380,347,141	31,457,315	45,107,965		456,912,421
長期預り金	530,000	1,131,560			1,661,560
固定負債合計	380,877,141	32,588,875	45,107,965		458,573,981
負債合計	468,429,176	65,303,619	77,543,892	△ 12,144,687	599,132,000
III 正味財産の部					
I. 指定正味財産					
広島市出資金	503,600,000				503,600,000
寄付金	1,401,119				1,401,119
指定正味財産合計	505,001,119				505,001,119
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)				(100,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(405,001,119)				(405,001,119)
2. 一般正味財産	△ 331,864,638	155,420,637	△ 47,399,634		△ 223,843,635
(うち基本財産への充当額)	(12,000,000)				(12,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(14,690,318)	(25,360,071)			(40,050,389)
正味財産合計	173,136,481	155,420,637	△ 47,399,634		281,157,484
負債及び正味財産合計	641,565,657	220,724,256	30,144,258	△ 12,144,687	880,289,484

3 正味財産増減計算書

正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	100,250	100,250	0
基本財産受取利息振替額	835,418	835,418	0
特定資産運用益			
緑化基金受取利息	91,916	91,916	0
緑化基金受取利息振替額	3,363,392	3,363,392	0
協会賞基金受取利息	16,708	16,708	0
協会賞基金受取利息振替額	8,354	8,354	0
引当資産等受取利息	40,700	34,980	5,720
受取会費			
会員受取会費	816,000	856,500	△ 40,500
事業収益			
利用料金収益	265,527,420	279,847,810	△ 14,320,390
指定管理料収益	1,049,691,000	999,605,437	50,085,563
維持補修業務等受託収益	811,458	17,459,314	△ 16,647,856
保護増殖業務受託収益	326,640	346,080	△ 19,440
売店等売上収益	157,683,843	172,745,729	△ 15,061,886
売店等事業収益	29,402,832	27,752,457	1,650,375
実費徴収金収益	2,260,041	2,329,736	△ 69,695
手数料収益	77,755	104,596	△ 26,841
使用料収益	3,356,305	3,703,765	△ 347,460
受取補助金等			
受取協会運営等補助金	115,087,039	106,752,282	8,334,757
受取動物管理助成金	478,371	506,950	△ 28,579
受取動物保護活動等助成金	330,000	296,000	34,000
受取負担金			
受取負担金	1,441,740	1,282,560	159,180
受取寄付金			
受取寄付金	323,295	312,530	10,765
受取寄付金振替額	809,460	0	809,460
受取協賛金			
受取協賛金	1,000,000	1,000,000	0
雑収益			
受取利息	51,804	44,524	7,280
雑収益	1,440,221	5,101,024	△ 3,660,803
固定負債取崩益			
退職給付引当金取崩益	14,197,268	8,611,372	5,585,896
経常収益計	1,649,569,230	1,633,109,684	16,459,546

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(2) 経常費用			
事業費			
給料	218,488,805	219,806,404	△ 1,317,599
諸手当	179,417,878	190,461,360	△ 11,043,482
報酬	121,254,337	122,720,092	△ 1,465,755
賞与引当金繰入	30,610,135	29,217,425	1,392,710
災害補償費	47,577	0	47,577
賃金	85,548,227	91,192,531	△ 5,644,304
退職給付費用	9,648,330	19,056,002	△ 9,407,672
福利厚生費	106,933,197	110,697,414	△ 3,764,217
退職共済掛金	204,000	204,000	0
仕入費	71,419,251	81,132,934	△ 9,713,683
食糧費	118,926	169,456	△ 50,530
諸謝金	3,361,563	4,069,000	△ 707,437
諸会費	809,720	913,890	△ 104,170
報償費	736,276	828,770	△ 92,494
旅費	2,614,274	3,829,770	△ 1,215,496
通信運搬費	3,694,807	3,732,455	△ 37,648
減価償却費	1,577,289	1,304,179	273,110
消耗什器備品費	256,197	1,002,799	△ 746,602
消耗品費	99,868,662	111,301,762	△ 11,433,100
器具備品購入費	549,546	433,695	115,851
原材料費	1,338,478	745,999	592,479
委託料	265,999,117	256,336,388	9,662,729
修繕費	42,589,090	47,262,466	△ 4,673,376
工事請負費	809,460	0	809,460
燃料費	29,191,805	31,708,193	△ 2,516,388
光熱水費	161,135,058	139,814,062	21,320,996
手数料	1,430,419	2,178,584	△ 748,165
使用料及び賃借料	12,399,994	11,787,670	612,324
保険料	2,259,082	2,863,929	△ 604,847
租税公課費	58,055,154	60,322,275	△ 2,267,121
負担金	1,562,484	1,592,597	△ 30,113
補助金	497,900	790,800	△ 292,900
協賛金	50,000	50,000	0
広報費	3,196,898	2,642,579	554,319
商品開発費	0	97,200	△ 97,200
指定管理納付金	0	7,583,490	△ 7,583,490
固定資産除却損	0	1	△ 1
雑費	217,818	0	217,818
棚卸減耗損	122,171	0	122,171

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
給料	20,642,400	20,029,200	613,200
諸手当	17,866,690	19,300,468	△ 1,433,778
報酬	14,856,018	10,386,874	4,469,144
賞与引当金繰入	2,631,899	2,302,135	329,764
賃金	7,824,050	7,499,912	324,138
退職給付費用	25,734,215	29,513,746	△ 3,779,531
福利厚生費	10,469,948	9,038,677	1,431,271
退職共済掛金	264,000	264,000	0
会議費	48,900	166,160	△ 117,260
交際費	10,000	5,000	5,000
諸謝金	418,000	429,000	△ 11,000
諸会費	252,960	290,960	△ 38,000
報償費	4,536	4,536	0
旅費	121,420	241,328	△ 119,908
通信運搬費	868,384	922,991	△ 54,607
消耗品費	1,021,538	1,053,596	△ 32,058
委託料	2,175,001	850,296	1,324,705
手数料	103,771	114,983	△ 11,212
使用料及び賃借料	11,268,139	10,845,451	422,688
負担金	686,209	665,159	21,050
協賛金	50,000	40,000	10,000
雑費	0	3,080	△ 3,080
経常費用計	1,635,332,003	1,671,817,723	△ 36,485,720
評価損益等調整前当期経常増減額	14,237,227	△ 38,708,039	52,945,266
当期経常増減額	14,237,227	△ 38,708,039	52,945,266
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
雑収益			
雑収益	776,976	0	776,976
経常外収益計	776,976	0	776,976
(2) 経常外費用			
事業費			
過年度災害補償費	271,642	0	271,642
経常外費用計	271,642	0	271,642
当期経常外増減額	505,334	0	505,334
税引前当期一般正味財産増減額	14,742,561	△ 38,708,039	53,450,600
法人税、住民税及び事業税	4,773,900	1,810,500	2,963,400
当期一般正味財産増減額	9,968,661	△ 40,518,539	50,487,200
一般正味財産期首残高	△ 233,812,296	△ 193,293,757	△ 40,518,539
一般正味財産期末残高	△ 223,843,635	△ 233,812,296	9,968,661

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	835,418	835,418	0
特定資産運用益			
緑化基金受取利息	3,363,392	3,363,392	0
協会賞基金受取利息	8,354	8,354	0
受取寄付金			
受取寄付金	346,934	1,326,380	△ 979,446
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 5,016,624	△ 4,207,164	△ 809,460
当期指定正味財産増減額	△ 462,526	1,326,380	△ 1,788,906
指定正味財産期首残高	505,463,645	504,137,265	1,326,380
指定正味財産期末残高	505,001,119	505,463,645	△ 462,526
Ⅲ 正味財産期末残高	281,157,484	271,651,349	9,506,135

正味財産増減計算書内訳表
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引等消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益										
基本財産受取利息		100,250		100,250						100,250
基本財産受取利息振替額	83,542	751,876		835,418						835,418
特定資産運用益										
緑化基金受取利息	91,916			91,916						91,916
緑化基金受取利息振替額	3,363,392			3,363,392						3,363,392
協会賞基金受取利息	16,708			16,708						16,708
協会賞基金受取利息振替額	8,354			8,354						8,354
引当資産等受取利息					40,700		40,700			40,700
受取会費										
会員受取会費		816,000		816,000						816,000
事業収益										
利用料金収益		142,352,900		142,352,900		123,174,520	123,174,520			265,527,420
指定管理料収益		872,436,000		872,436,000		177,255,000	177,255,000			1,049,691,000
維持補修業務等受託収益		811,458		811,458						811,458
保護増殖業務受託収益		326,640		326,640						326,640
売店等売上収益					157,683,843		157,683,843			157,683,843
売店等事業収益					28,440,194	962,638	29,402,832			29,402,832
実費徴収金収益					2,260,041		2,260,041			2,260,041
手数料収益					77,755		77,755			77,755
使用料収益					3,356,305		3,356,305			3,356,305
受取補助金等								115,087,039		115,087,039
受取協会運営等補助金										
受取動物管理助成金		478,371		478,371						478,371
受取動物保護活動等助成金		330,000		330,000						330,000
受取負担金										
受取負担金	221,000	1,220,740		1,441,740						1,441,740
受取寄付金										
受取寄付金		323,295		323,295						323,295
受取寄付金振替額		809,460		809,460						809,460
受取協賛金										
受取協賛金		1,000,000		1,000,000						1,000,000
雑収益										
受取利息	27,754			27,754	24,050		24,050			51,804
雑収益	277,447	723,478		1,000,925	78,564	519,208	597,772	1,986,211	△ 2,144,687	1,440,221
固定負債取崩益										
退職給付引当金取崩益		14,197,268		14,197,268						14,197,268
経常収益計	4,090,113	1,036,677,736	0	1,040,767,849	191,961,452	301,911,366	493,872,818	117,073,250	△ 2,144,687	1,649,569,230

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引等消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
(2) 経常費用										
事業費										
給料		206,142,005		206,142,005	12,346,800		12,346,800			218,488,805
諸手当		165,659,082	2,624,684	168,283,766	10,381,059	753,053	11,134,112			179,417,878
報酬	1,516,837	83,192,835		84,709,672	14,794,731	21,749,934	36,544,665			121,254,337
賞与引当金繰入		26,886,222	622,315	27,508,537	2,015,125	1,086,473	3,101,598			30,610,135
災害補償費		47,577		47,577						47,577
貸金		57,822,424		57,822,424	21,398,153	6,327,650	27,725,803			85,548,227
退職給付費用		9,015,751		9,015,751	632,579		632,579			9,648,330
福利厚生費	247,890	92,091,193	2,859,893	95,198,976	6,719,397	5,014,824	11,734,221			106,933,197
退職共済掛金					204,000		204,000			204,000
仕入費					71,419,251		71,419,251			71,419,251
食糧費		118,926		118,926						118,926
諸謝金	423,000	2,902,563		3,325,563		36,000	36,000			3,361,563
諸会費		707,520		707,520	102,200		102,200			809,720
報償費		736,276		736,276						736,276
旅費		2,409,314		2,409,314	204,960		204,960			2,614,274
通信運搬費	47,795	3,436,526		3,484,321	85,712	124,774	210,486			3,694,807
減価償却費		106,735	283,884	390,619	1,186,670		1,186,670			1,577,289
消耗什器備品費		89,877		89,877	166,320		166,320			256,197
消耗品費	950,355	93,780,201		94,730,556	1,555,441	3,582,665	5,138,106			99,868,662
器具備品購入費		549,546		549,546						549,546
原材料費		1,338,478		1,338,478						1,338,478
委託料		111,462,663	783,000	112,245,663	2,082,855	151,670,599	153,753,454			265,999,117
修繕費		27,290,214	113,184	27,403,398	266,489	14,919,203	15,185,692			42,589,090
工事請負費		809,460		809,460						809,460
燃料費		28,793,814	25,701	28,819,515	40,010	332,280	372,290			29,191,805
光熱水費		106,124,677		106,124,677	6,464,442	48,545,939	55,010,381			161,135,058
手数料	16,842	882,470	1,100	900,412	282,454	247,553	530,007			1,430,419
使用料及び賃借料		7,016,353	2,380	7,018,733	4,318,325	1,062,936	5,381,261			12,399,994
保険料		1,156,380	38,720	1,195,100	313,112	750,870	1,063,982			2,259,082
租税公課費		46,541,193	72,300	46,613,493	7,399,327	6,187,021	13,586,348		△ 2,144,687	58,055,154
負担金	1,100,000	428,029		1,528,029	34,455		34,455			1,562,484
補助金	497,900			497,900						497,900
協賛金		50,000		50,000						50,000
広報費		2,722,000		2,722,000	474,898		474,898			3,196,898
雑費					217,818		217,818			217,818
棚卸減耗損					122,171		122,171			122,171

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引等消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
管理費										
給料								20,642,400		20,642,400
諸手当								17,866,690		17,866,690
報酬								14,856,018		14,856,018
賞与引当金繰入								2,631,899		2,631,899
賃金								7,824,050		7,824,050
退職給付費用								25,734,215		25,734,215
福利厚生費								10,469,948		10,469,948
退職共済掛金								264,000		264,000
会議費								48,900		48,900
交際費								10,000		10,000
諸謝金								418,000		418,000
諸会費								252,960		252,960
報償費								4,536		4,536
旅費								121,420		121,420
通信運搬費								868,384		868,384
消耗品費								1,021,538		1,021,538
委託料								2,175,001		2,175,001
手数料								103,771		103,771
使用料及び賃借料								11,268,139		11,268,139
負担金								686,209		686,209
協賛金								50,000		50,000
経常費用計	4,800,619	1,080,310,304	7,427,161	1,092,538,084	165,228,754	262,391,774	427,620,528	117,318,078	△ 2,144,687	1,635,332,003
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 710,506	△ 43,632,568	△ 7,427,161	△ 51,770,235	26,732,698	39,519,592	66,252,290	△ 244,828	0	14,237,227
当期経常増減額	△ 710,506	△ 43,632,568	△ 7,427,161	△ 51,770,235	26,732,698	39,519,592	66,252,290	△ 244,828	0	14,237,227
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
雑収益										
雑収益		776,976		776,976						776,976
経常外収益計		776,976		776,976						776,976
(2) 経常外費用										
事業費										
過年度災害補償費		271,642		271,642						271,642
経常外費用計		271,642		271,642						271,642
当期経常外増減額		505,334		505,334						505,334
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 710,506	△ 43,127,234	△ 7,427,161	△ 51,264,901	26,732,698	39,519,592	66,252,290	△ 244,828		14,742,561
他会計振替額	1,143,770	34,591,500	7,687,993	43,423,263	△ 14,618,263	△ 28,805,000	△ 43,423,263			0
税引前当期一般正味財産増減額	433,264	△ 8,535,734	260,832	△ 7,841,638	12,114,435	10,714,592	22,829,027	△ 244,828		14,742,561
法人税、住民税及び事業税					4,773,900		4,773,900			4,773,900
当期一般正味財産増減額	433,264	△ 8,535,734	260,832	△ 7,841,638	7,340,535	10,714,592	18,055,127	△ 244,828		9,968,661
一般正味財産期首残高	64,486,813	△ 389,247,927	738,114	△ 324,023,000	138,207,104	△ 841,594	137,365,510	△ 47,154,806		△ 233,812,296
一般正味財産期末残高	64,920,077	△ 397,783,661	998,946	△ 331,864,638	145,547,639	9,872,998	155,420,637	△ 47,399,634		△ 223,843,635

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引等消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
II 指定正味財産増減の部										
基本財産運用益										
基本財産受取利息	83,542	751,876		835,418						835,418
特定資産運用益										
緑化基金受取利息	3,363,392			3,363,392						3,363,392
協会賞基金受取利息	8,354			8,354						8,354
受取寄付金										
受取寄付金		346,934		346,934						346,934
一般正味財産への振替額										
一般正味財産への振替額	△ 3,455,288	△ 1,561,336		△ 5,016,624						△ 5,016,624
当期指定正味財産増減額	0	△ 462,526		△ 462,526						△ 462,526
指定正味財産期首残高	413,600,000	91,863,645		505,463,645						505,463,645
指定正味財産期末残高	413,600,000	91,401,119		505,001,119						505,001,119
III 正味財産期末残高	478,520,077	△ 306,382,542	998,946	173,136,481	145,547,639	9,872,998	155,420,637	△ 47,399,634	0	281,157,484

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
商品・・・・・・・・・・先入先出法による原価法によっている。（時価が取得価額よりも下落した場合には、時価をもって貸借対照表価額とする。）
- (3) 固定資産の減価償却の方法
定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準
貸倒引当金・・・・・・・・債権については回収可能性に問題がないため、貸倒引当金は計上していない。
賞与引当金・・・・・・・・職員の賞与の支払いに備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上している。
退職給付引当金・・・・・・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	112,000,000	—	—	112,000,000
小 計	112,000,000	—	—	112,000,000
特定資産				
緑化基金積立資産	413,634,328	—	—	413,634,328
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000	—	—	3,000,000
退職給付引当資産	30,824,736	632,579	—	31,457,315
減価償却引当資産	24,092,901	1,470,554	—	25,563,455
備品等購入資金積立資産	1,452,606	—	—	1,452,606
みどり生きものサポーター募金積立資産	1,863,645	—	462,526	1,401,119
小 計	474,868,216	2,103,133	462,526	476,508,823
合 計	586,868,216	2,103,133	462,526	588,508,823

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	112,000,000	(100,000,000)	(12,000,000)	(—)
小 計	112,000,000	(100,000,000)	(12,000,000)	(—)
特定資産				
緑化基金積立資産	413,634,328	(402,600,000)	(11,034,328)	(—)
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000	(1,000,000)	(2,000,000)	(—)
退職給付引当資産	31,457,315	(—)	(—)	(31,457,315)
減価償却引当資産	25,563,455	(0)	(25,563,455)	(—)
備品等購入資金積立資産	1,452,606	(0)	(1,452,606)	(—)
みどり生きものサポーター募金積立資産	1,401,119	(1,401,119)	(0)	(—)
小 計	476,508,823	(405,001,119)	(40,050,389)	(31,457,315)
合 計	588,508,823	(505,001,119)	(52,050,389)	(31,457,315)

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
第368回大阪府公募公債	527,900,992	544,684,800	16,783,808
第327回利付国債	899,834	933,930	34,096
合 計	528,800,826	545,618,730	16,817,904

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金 受取協会運営等補助金 (広島市補助金)	広島市	0	115,087,039	115,087,039	0	—
助成金 受取動物管理助成金	(公社)日本動物園水族館協会	0	478,371	478,371	0	—
受取動物保護活動等助成金	(公社)日本動物園水族館協会	0	330,000	330,000	0	—
合 計		0	115,895,410	115,895,410	0	

※ 前年度までは、広島市への精算返還分を含めた総額を「当期増加額」欄に記載するとともに、当該精算返還分を「期末残高」欄に記載していたが、当年度から精算返還分を差し引いた金額を「当期増加額」欄に記載することとしている。
 そのため、前期末残高が171,718円ではなく、0円と記載している。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	835,418
特定資産受取利息の振替額	3,371,746
受取寄付金の振替額	809,460
合 計	5,016,624

7. 関連当事者との取引の内容
 関連当事者との取引内容は、次のとおりである。

(単位：円)

属 性	法 人 等 の 名 称	住 所	資 産 総 額	事 業 の 内 容 又 は 職 業	議 決 権 の 所 有 割 合	関 係 内 容		取引の内容	取引金額	科目	期 末 残 高
						役員の兼務等	事業上の関係				
当 法 人 を 支 配 す る 法 人	広 島 市	広 島 市 中 区	—	—	—	理事15名中 市職員3名 元市職員3名	市公共事業の受託	広島市の公園及び公園施設の指定管理	1,049,691,000	—	0
								広島市の公園及び公園施設の維持補修等	811,458	—	0
								協会事業に対する補助	協会運営事業に対する補助	115,087,039	—

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

剰余金が生じた場合において、指定管理については毎年度又は指定管理期間満了時に精算を行い返還することとし、受託及び補助については毎年度精算を行い返還することとしている。

※ 前年度までは、広島市への精算返還分を含めた総額を「取引金額」欄に記載するとともに、当該精算返還分を「期末残高」欄に記載していたが、当年度から精算返還分を差し引いた金額を「取引金額」欄に記載することとしている。

6 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の「2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」において記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	31,519,560	33,242,034	31,519,560	—	33,242,034
退職給付引当金	461,206,065	21,185,277	25,478,921	—	456,912,421

財 産 目 録

平成31年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)				
現金	手元保管	運転資金として	17,059,351	
預金	普通預金	運転資金として		
	広島銀行本店営業部		82,994,686	
	広島銀行安支店		56,226,615	
	広島銀行五日市八幡支店		54,478,099	
	広島銀行福田支店		6,421,767	
	定期預金	運転資金として		
	呉信用金庫広島支店		6,000,000	
	西日本シティ銀行広島支店		10,000,000	
	大和ネクスト銀行		10,000,000	
	西京銀行広島支店		10,000,000	
	信用組合広島商銀本店営業部		10,000,000	
	広島県信用漁業協同組合連合会本店		10,000,000	
	振替口座	運転資金として		
	ゆうちょ銀行日浦郵便局		1,285,402	
	ゆうちょ銀行広島城山郵便局		804,146	
	ゆうちょ銀行広島馬木郵便局		148,296	
未収金	売店業務等委託先業者ほか	販売手数料等	1,516,079	
商品	オリジナルグッズ他	来園者等への販売用	7,980,903	
流動資産合計			284,915,344	
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	第368回大阪府公募公債	公益目的保有財産であり、満期保有目的で保有し、運用益を動物公園事業等の財源として使用している。	112,000,000
特定資産	緑化基金積立資産	投資有価証券		
		第368回大阪府公募公債	公益目的保有財産であり、満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業の財源として使用している。	412,736,000
		第327回利付国債	同上	898,328
	広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	投資有価証券	公益目的保有財産であり、満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業の財源として使用している。	3,000,000
	退職給付引当資産	普通預金		
		広島銀行本店営業部	収益事業従事職員に対する退職金の支払いに備え管理している預金	5,824,736
		広島銀行安支店	同上	632,579
		定期預金		
		広島銀行安支店	同上	10,000,000
		広島県信用組合安古市支店	同上	10,000,000
		広島市農業協同組合あさひが丘支店	同上	5,000,000
	減価償却引当資産	普通預金		
		広島銀行本店営業部	器具備品等の更新に備え管理している預金	6,489,510
		広島銀行安支店	同上	587,469
		広島銀行五日市八幡支店	同上	486,476
		定期預金		
		呉信用金庫広島支店	同上	4,000,000
		広島市信用組合安支店	同上	10,000,000
		広島市農業協同組合あさひが丘支店	同上	4,000,000
	備品等購入資金積立資産	普通預金		
		広島銀行本店営業部	器具備品等の取得に備え管理している預金	452,606
		定期預金		
		広島市農業協同組合あさひが丘支店	同上	1,000,000
	みどり生きものサポーター募金積立資産	普通預金	魅力ある施設づくりのための寄付金を管理している預金	1,256,966
		広島銀行安支店	同上	50,612
		広島銀行五日市八幡支店	同上	93,541
		広島銀行福田支店	同上	
その他固定資産				
	建物	植物公園 温室及び倉庫 62.3㎡	収益事業における販売用植物の展示・保管用	2
	構築物	安佐動物公園 仮設売店 9.7㎡	収益事業における飲食物販売用	1,351,615
	車両運搬具	普通乗用車1台	公益目的事業用車両運搬具	47,320
		小型貨物等3台、スクーター2台	収益事業用車両運搬具	5
	器具備品	デジタルカメラ等23点	公益目的事業用器具備品	1,161,797
		冷蔵庫等78点	収益事業用器具備品	4,063,096
	電話加入権	安佐動物公園 管理事務所	収益事業に係る電話回線(1回線)	74,984
	投資有価証券	第368回大阪府公募公債	満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業等の財源として使用している。	164,992
		第327回利付国債	同上	1,506
固定資産合計				595,374,140
資産合計				880,289,484

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	維持管理業務等委託先業者ほか	委託料等の未払額	75,553,660
	未払消費税等	広島東税務署	平成30年度消費税及び地方消費税の未払額	14,726,600
	未払法人税等	広島東税務署	平成30年度法人税等の未払額	4,773,900
	前受金	広島動物愛好会等会員	平成31年度分前受会費	229,000
	買掛金	商品仕入先業者	売店等における商品仕入れの買掛額	5,241,823
	預り金	広島東税務署、厚生労働省年金局、 広島市等	源泉所得税、健康保険料及び厚生年金保険料、住民税等	6,791,002
	賞与引当金	職員に対するもの	職員117名に対する賞与の支払いに備えたもの	33,242,034
流動負債合計				140,558,019
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員63名に対する退職金の支払いに備えたもの	456,912,421
	長期預り金	維持管理業務等委託先業者	契約保証金	1,661,560
固定負債合計				458,573,981
負債合計				599,132,000
正味財産				281,157,484

監査報告書

令和元年5月17日

公益財団法人広島市みどり生きもの協会
理事長 岡村 清治 様

公益財団法人広島市みどり生きもの協会

監事 神田 敏治

公益財団法人広島市みどり生きもの協会

監事 久光 章

私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上